

第26回国際協力フォトコンテスト入賞作品

JICAでは、開発途上国や国際協力に対する関心と理解を深めていただくために、毎年「国際協力フォトコンテスト」を主催しています。
2005年度に開催した第26回コンテストでは17名の方が入賞しました。



JICA理事長賞

「村に井戸が出きたわ!」

坂本 達

撮影地：ギニア

撮影状況と受賞のコメント：

自転車を使つての世界一周中にマラリアと赤痢で倒れたとき、村の最後の薬を使い献身的に看病してくれたギニア人医師シェリフの故郷に、「恩返し井戸」を村人たちと作るようになりました。この共同作業が完成したときの感激を写した1枚ですが、賞をいただき感激が倍増しました。(要約)

「Love of Life」Abelardo Arizpe
撮影地：メキシコ



「メガネ、メガネ」深沢 チハル
撮影地：トンガ



「音楽初体験～みんなでenjoy～」
西殿 英里 撮影地：フィリピン



一般賞



「ブスカシ」Barat Ali Batoor
撮影地：アフガニスタン



「Hey kaki, ぼくらも写してよ!」柿崎 芳明
撮影地：ガーナ



「経験」小高 宏司
撮影地：ポリビア

国際協力部門：日本人と開発途上国の人々との技術協力や交流の現場を撮影した写真。
一般部門：開発途上国の自然や文化の中で生きる人々などを撮影した写真。

他の入賞作品は<http://www.jica.go.jp/classroom/photocon26/>でご覧いただけます。
フォトコンテストに関する詳細は「JICA国際協力フォトコンテスト事務局」TEL：03-5322-2546へお問い合わせいただくか、
<http://www.jica.go.jp/classroom/photocon/index.html>をご覧ください。



第4部 ● 事業実績

第1章 事業実績統計

統計を見るときに注意	118
JICA事業実績の概要	118
事業別人数実績	119
地域別人数実績	120
国別事業実績	124

統計を見るときに注意

事業実績統計は、JICAが、2005年度に実施した事業に関する経費と人数について取りまとめたもので、その集計の方法と範囲は以下のとおりです。

1. 二国間の協力実績を地域別に集計する場合は、次の6地域としています。なお、2地域以上にまたがる協力の場合は、「区分不能」に計上しています。
 (1)アジア地域(中央アジア・コーカサス地域を含み、中東地域に該当する国を除く) (2)中東地域(アフガニスタン以西、サハラ砂漠以北) (3)アフリカ地域(中東地域に該当する国を除く) (4)北米・中南米地域、(5)大洋州地域、(6)ヨーロッパ地域
2. 事業の形態は、人数実績に関しては次の5形態に

分類しています。

- (1)研修員受入、(2)専門家派遣、(3)調査団派遣、(4)青年海外協力隊派遣、(5)その他ボランティア派遣
3. 分野は、次の10分野に分類しています。
 (1)計画・行政、(2)公共・公益事業、(3)農林水産、(4)鉱工業、(5)エネルギー、(6)商業・観光、(7)人的資源、(8)保健・医療、(9)社会福祉、(10)その他
4. 経費は、2005年度中に支出した金額(当年度予算と繰越予算の合計額)です。
5. 国別の詳細な実績などは、「国際協力機構年報資料編」(CD-ROM)をご覧ください。

図表4-1 JICA事業実績の概要

協力の内容	2005年度	2004年度(参考)
1 日本全体のODA実績 (暦年実績。2005年は暫定値。東欧、卒業国などへの実績を含む)	13,237百万ドル (14,574億円)	9,019百万ドル (9,750億円)
2 JICAの技術協力経費実績(管理費を除く)	1,539億円	1,506億円
3 援助対象の開発途上国・地域数	155カ国・地域	158カ国・地域
4 研修員受入数(新規)	24,504人	20,089人
5 専門家派遣数(新規)	3,488人	4,340人
6 調査団員派遣数(新規)	6,862人	7,548人
7 協力隊員派遣数(新規)	1,804人	1,422人
8 その他ボランティア派遣数(新規)	633人	457人
9 技術協力プロジェクト件数	578件(84カ国)	370件(68カ国)
10 開発調査件数	168件(79カ国)	159件(65カ国)
11 無償資金協力件数	205件(73カ国)	190件(72カ国)
12 緊急援助件数	22件(17カ国)	37件(20カ国)

(注)1)第1項の卒業国とは、マルタ、スロベニア、ブルネイ、クウェート、カタール、シンガポール、アラブ首長国連邦、イスラエル、香港、キプロス、韓国、マカオ、バーレーンの13の国・地域。

2)2005年DAC指定レート：1ドル=110.1円。

3)技術協力プロジェクト件数：日本国政府から裨益国政府へ技術協力プロジェクトとして通報され、実施した案件の件数。

4)開発調査件数：日本国政府から裨益国政府へ開発調査として通報された案件のうち、本格調査の実施件数。

5)無償資金協力件数：供与を実施した案件(JICA実施促進分)の件数。

6)緊急援助件数：援助隊の派遣件数および物資供与件数の合計件数。

事業別人数実績

図表4-2 事業別人数実績

(新規分)

形態/事業		地域	アジア	中東	アフリカ	北米・中南米	大洋州	ヨーロッパ	区分不能	総計
研修員受入	一般技術研修員		4,136	984	1,034	1,181	273	299		7,907
	第三国研修員		804	747	689	481	91	34		2,846
	第二国研修員		2,404	391	7,819	1,190	9			11,813
	国際機関研修員		10	2	1	5				18
	移住研修員					56				56
	青年招へい研修員		1,266	105	112	41	90			1,614
	日系研修員					132				132
	地域提案型研修員		98		2	11	7			118
	合計		8,718	2,229	9,657	3,097	470	333		24,504
専門家派遣	一般技術専門家		144	27	40	21	5	10		247
	第三国専門家		2		21	81	1			105
	在外技術研修講師		43	31	12	19	1			106
	無償資金専門家		1		1					2
	災害援助等協力専門家		117							117
	国・課題別事業計画専門家		28	12	26	12	1	1		80
	技術協力プロジェクト専門家		1,493	258	221	233	80	42		2,327
	草の根技術協力専門家		419	8	48	24	5			504
	合計		2,247	336	369	390	93	53		3,488
調査団派遣	技術協力プロジェクト調査団		2,226	410	474	504	100	140	44	3,898
	海外開発計画調査団		524	11	107	59		10	6	717
	資源開発協力基礎調査団						16			16
	海外農林業開発協力問題調査団				16					16
	人材養成確保調査団		1							1
	無償資金協力調査団		362	125	355	253	58	40	2	1,195
	青年海外協力隊調査団		32	4	18	19	5	1	7	86
	移住事業調査団					7				7
	災害援助等協力調査団		21		2			1		24
	国・課題別事業計画調査団		240	62	72	36	8	36	29	483
	事業評価調査団		167	33	44	66	5	7	4	326
	国民参加協力調査団		37	2	5	4			3	51
	事業附帯関係調査団		10	6	13	7	5		1	42
合計		3,620	653	1,106	955	197	235	96	6,862	
協力隊派遣	一般隊員		409	120	587	379	134	49		1,678
	シニア隊員		33	11	45	20	14	3		126
合計		442	131	632	399	148	52		1,804	
その他ボランティア	シニア海外ボランティア		176	81	39	204	78	1		579
	日系社会シニアボランティア					17				17
	国連ボランティア				1	4	3			8
	日系社会青年ボランティア					29				29
	合計		176	81	40	254	81	1		633
総計		15,203	3,430	11,804	5,095	989	674	96	37,291	

特集

第1部

第2部

第3部

第4部

参考

第1章 事業実績統計

JICA事業実績の概要

事業別人数実績

図表4-3 地域別人数実績 / 1 アジア地域

形態	分野	合計人数	計画・行政			公共・公益事業				農林水産				鉱工業		王老干	商業・観光		人的資源		保健・医療	社会福祉	その他
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業	商業・貿易		観光	人的資源	科学・文化				
研修員受入	新規	8,708	497	1,566	752	335	158	166	652	155	134	150	31	226	103	317	30	2,001	13	1,088	177	157	
	継続	736	27	45	10	13	15		54	17	13	13		32	3	21		314	5	153	1		
	計	9,444	524	1,611	762	348	173	166	706	172	147	163	31	258	106	338	30	2,315	18	1,241	178	157	
専門家派遣	短期	新規	2,019	42	377	33	181	67	29	149	14	83	29	14	39	59	40	2	279		302	221	59
		継続	152	3	19	1	7	2	2	8		6	3		2	8	1		26		37	18	9
		計	2,171	45	396	34	188	69	31	157	14	89	32	14	41	67	41	2	305		339	239	68
	長期	新規	228	23	49	9	16	12	5	24	2	8	1		5	3	4		31		25	3	8
		継続	658	58	107	11	45	31	14	94	20	55	10	12	20	21	9	1	63	2	58	17	10
		計	886	81	156	20	61	43	19	118	22	63	11	12	25	24	13	1	94	2	83	20	18
合計	新規	2,247	65	426	42	197	79	34	173	16	91	30	14	44	62	44	2	310		327	224	67	
	継続	810	61	126	12	52	33	16	102	20	61	13	12	22	29	10	1	89	2	95	35	19	
	計	3,057	126	552	54	249	112	50	275	36	152	43	26	66	91	54	3	399	2	422	259	86	
調査団派遣	新規	3,620	313	448	190	681	512	30	150	42	37	19	29	106	311	23		222	10	163	89	245	
	継続	67	14	9		11	4		16									2	4		2	5	
	計	3,687	327	457	190	692	516	30	166	42	37	19	29	106	311	23	2	226	10	165	89	250	
協力隊派遣	新規	442		47	1		9	2	45	24	6	3		15				8	148	22	82	4	26
	継続	738		125	5		13	3	70	16	6	10		31		1	5	241	39	147	7	19	
	計	1,180		172	6		22	5	115	40	12	13		46		1	13	389	61	229	11	45	
その他ボランティア	新規	176	2	17	3	6	19	4	8	1		2	1	35	1	23	2	30	10	7		5	
	継続	251	8	21	5	12	11	11	15	3	3		2	61	2	20	4	38	10	17		8	
	計	427	10	38	8	18	30	15	23	4	3	2	3	96	3	43	6	68	20	24		13	

図表4-4 地域別人数実績 / 2 中東地域

形態	分野	合計人数	計画・行政			公共・公益事業				農林水産				鉱工業		王老干	商業・観光		人的資源		保健・医療	社会福祉	その他
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業	商業・貿易		観光	人的資源	科学・文化				
研修員受入	新規	2,227	181	380	177	216	76	45	208	12	6	19	10	42	165	58	87	207	20	233	38	47	
	継続	111	1	12	26	4	6		10	2		10		7	3		10	7	1	12			
	計	2,338	182	392	203	220	82	45	218	14	6	29	10	49	168	58	97	214	21	245	38	47	
専門家派遣	短期	新規	286	17	39	19	3	13	4	34	2	3	14	4		6	1	4	97		23		3
		継続	19		1				3	3						2		1	6		3		
		計	305	17	40	19	3	13	7	37	2	3	14	4		8	1	5	103		26		3
	長期	新規	50	9	5		2	2	1	2			3	1	1	2	1	1	10		7		3
		継続	126	18	2	2	1	4	1	12	1	1	8	4	6	9	2	2	32		14	1	6
		計	176	27	7	2	3	6	2	14	1	1	11	5	7	11	3	3	42		21	1	9
合計	新規	336	26	44	19	5	15	5	36	2	3	17	5	1	8	2	5	107		30		6	
	継続	145	18	3	2	1	4	4	15	1	1	8	4	6	11	2	3	38		17	1	6	
	計	481	44	47	21	6	19	9	51	3	4	25	9	7	19	4	8	145		47	1	12	
調査団派遣	新規	653	46	31	88	60	143		34		8	21	4	12	15	1	1	67	5	49	19	49	
	継続	11					5								1			2				3	
	計	664	46	31	88	60	148		34		8	21	4	12	16	1	1	69	5	49	19	52	
協力隊派遣	新規	131		12			8		3		1			5				51	22	21		8	
	継続	155		24			10		9					5			1	33	33	38	1	1	
	計	286		36			18		12		1			10			1	84	55	59	1	9	
その他ボランティア	新規	81	4	7	6		3		2	1				14	2	8	1	20	6	5		2	
	継続	131	10	19	2	5	8	1	1	1				39	1	14		19	9	1		1	
	計	212	14	26	8	5	11	1	3	2				53	3	22	1	39	15	6		3	

図表4-5 地域別人数実績 / 3 アフリカ地域

形態	分野	合計人数	計画・行政			公共・公益事業			農林水産				鉱工業		王老ル干	商業・観光		人的資源		保健・医療	社会福祉	その他	
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員受入	新規	9,656	305	6,263	43	78	42	20	176	21	40	135	10	20	16	33	12	1,925	4	333	24	156	
	継続	155	12	15	1		6	4	38	9		8		8				34	1	19			
	計	9,811	317	6,278	44	78	48	24	214	30	40	143	10	28	16	33	12	1,959	5	352	24	156	
専門家派遣	短期	新規	285	8	28	7	11	19		29	3	19	12		1			3	53		85	1	6
		継続	36	2	2		2		1	7	1	1	3						10		6		1
		計	321	10	30	7	13	19	1	36	4	20	15		1			3	63		91	1	7
	長期	新規	84	16	7		1	1		15		3	2						13		21		2
		継続	177	28	6	2	3	2		32		11	8		2				32	1	44		6
		計	261	44	13	2	4	3		47		14	10		5				45	1	65		8
	合計	新規	369	24	35	7	12	20		44	3	22	14		4			3	66		106	1	8
		継続	213	30	8	2	5	2	1	39	1	12	11		2				42	1	50		7
		計	582	54	43	9	17	22	1	83	4	34	25		6			3	108	1	156	1	15
	調査団派遣	新規	1,106	88	5	73	117	114	6	146	1	13	51	23	14	67	28	3	152		100	2	103
		継続	33	2	2		6	3		3	2								2				13
		計	1,139	90	7	73	123	117	6	149	3	13	51	23	14	67	28	3	154		100	2	116
協力隊派遣	新規	632		58	3		10		120	5	11	4		61		1	3	188	30	87	8	43	
	継続	652		90	4		22		116	9	15	2		50			4	199	30	92	5	14	
	計	1,284		148	7		32		236	14	26	6		111		1	7	387	60	179	13	57	
その他ボランティア	新規	39		2		1	8		4				1	11	1	2	1	4	1	3			
	継続	23		2			1	1	1					8	1	1	2	5					
	計	62		4		1	9	1	5				1	19	2	3	3	9	1	3			

図表4-6 地域別人数実績 / 4 北米・中南米地域

形態	分野	合計人数	計画・行政			公共・公益事業			農林水産				鉱工業		王老ル干	商業・観光		人的資源		保健・医療	社会福祉	その他	
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員受入	新規	3,092	44	375	109	57	100	32	211	66	28	645	50	130	23	87	30	278	25	718	55	29	
	継続	218	2	21		18	5	1	19	12	2	6	3	15	2	19		21	17	43	12		
	計	3,310	46	396	109	75	105	33	230	78	30	651	53	145	25	106	30	299	42	761	67	29	
専門家派遣	短期	新規	334	5	89	7	2	14		22	30	20	17	1	21	3	8		23		59	9	4
		継続	38	1	7		4			2		2	3				2		3		11		
		計	372	6	96	7	6	14		24	30	22	20	1	24	3	10		26		70	9	4
	長期	新規	56	14	9					8	7	2	1				1	2	4		6		2
		継続	170	32	16	1	3	5	1	27	8	5	17	4	3		6		12		26		4
		計	226	46	25	1	3	5	1	35	15	7	18	4	3		7	2	16		32		6
	合計	新規	390	19	98	7	2	14		30	37	22	18	1	21	3	9	2	27		65	9	6
		継続	208	33	23	1	7	5	1	29	8	7	20	4	6		8		15		37		4
		計	598	52	121	8	9	19	1	59	45	29	38	5	27	3	17	2	42		102	9	10
	調査団派遣	新規	955	10	69	102	169	103		83	1	25	51	1	66	5	16	2	45	15	90	8	94
		継続	18	2			5	3					2				1			4			1
		計	973	12	69	102	174	106		83	1	25	53	1	66	5	17	2	45	15	94	8	95
協力隊派遣	新規	399		45	1	1	6	1	59	6	2	3		8		1	6	113	38	91	6	12	
	継続	721		135	1	1	6		123	11	10	5		37		1	6	186	55	126	5	13	
	計	1,120		180	2	2	12	1	182	17	12	8		45		2	12	299	93	217	11	25	
その他ボランティア	新規	250	16	15	10	4	12	7	21	4	3	7		29	1	27	4	49	18	10	13		
	継続	367	19	23	10	6	10	7	22	6		7	2	39	2	32	6	113	21	12	17	13	
	計	617	35	38	20	10	22	14	43	10	3	14	2	68	3	59	10	162	39	22	30	13	

図表4-7 地域別人数実績 / 5 大洋州地域

形態	分野	合計人数	計画・行政			公共・公益事業			農林水産				鉱工業		王手ル干	商業・観光		人的資源		保健・医療	社会福祉	その他
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化			
研修員受入	新規	470	19	129	6	43	21	18	27	5	9	13	2	9	8	6	4	108	1	28	12	2
	継続	23	3	1		1			6			4						4		4		
	計	493	22	130	6	44	21	18	33	5	9	17	2	9	8	6	4	112	1	32	12	2
専門家派遣	短期	新規	83	13	25		2		10			2						11		20		
		継続	4						1			1						1		1		
		計	87	13	25		2		11			3						12		21		
	長期	新規	10	1	1				2			3								3		
		継続	25	7	4		1		1	2		2						7				1
		計	35	8	5		1		1	4		5						7		3		1
合計	新規	93	14	26		2		12			5						11		23			
	継続	29	7	4		1		1	3		3						8		1		1	
	計	122	21	30		3		1	15		8						19		24		1	
調査団派遣	新規	197		3	35	73	1		2		26	16		1			10		6	3	21	
	継続	1																			1	
	計	198		3	35	73	1		2		26	16		1			10		6	3	22	
協力隊派遣	新規	148		17	1		5		9	1	6	1		6			1	71	9	16		5
	継続	216		36			11		14	3		3		8			2	97	13	23	1	5
	計	364		53	1		16		23	4	6	4		14			3	168	22	39	1	10
その他ボランティア	新規	78	1	12	1	2	3	8	3	1	1			10	1	7	3	16	2	7		
	継続	93	1	22	2	7	4	5	5	1		5		8	4	6	3	8	2	9	1	
	計	171	2	34	3	9	7	13	8	2	1	5		18	5	13	6	24	4	16	1	

図表4-8 地域別人数実績 / 6 ヨーロッパ地域

形態	分野	合計人数	計画・行政			公共・公益事業			農林水産				鉱工業		王手ル干	商業・観光		人的資源		保健・医療	社会福祉	その他
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化			
研修員受入	新規	333	25	113	9	15	13	3	22				19	14	17	48	1	22		2	4	6
	継続	50		1		2	1						8	10	22		3		3			
	計	383	25	114	9	17	14	3	22				19	22	27	70	1	25		5	4	6
専門家派遣	短期	新規	44	19		1	7						1	5	8	1	1				1	
		継続	6		1		1						1	1	1					1		
		計	50	19	1	1	8						2	6	9	1	1			1	1	
	長期	新規	9	3			2			1							1		1			1
		継続	18	4	2		3							4	5							
		計	27	7	2		5			1				4	6			1				1
合計	新規	53	22		1	9			1				5	9	1	2					1	1
	継続	24	4	3		4							1	5	6					1		
	計	77	26	3	1	13			1				2	10	15	1	2			1	1	1
調査団派遣	新規	235	23	16	18	4	64		15				5	3	5	5	4	3	7	20	2	41
	継続																					
	計	235	23	16	18	4	64		15				5	3	5	5	4	3	7	20	2	41
協力隊派遣	新規	52		5	1		1		1		1		2					30	3	4	4	
	継続	86		12	2				2		2		4				1	45	7	10	1	
	計	138		17	3		1		3		3		6				1	75	10	14	5	
その他ボランティア	新規	1											1									
	継続																					
	計	1											1									

図表4-9 地域別人数実績 / 7 国際機関

形態	分野	合計人数	計画・行政		公共・公益事業			農林水産				鉱工業		王手干	商業・観光		人的資源		保健・医療	社会福祉	その他
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業		工業	商業・貿易	観光	人的資源			
研修員受入	新規	18						2				2	2	9					3		
	継続	1												1							
	計	19						2				2	2	10					3		
専門家派遣	新規																				
	継続	1	1																		
	計	1	1																		
	合計	新規																			
	継続	1	1																		
	計	1	1																		
その他ボランティア	新規	8																	2	1	4
	継続	27		3			2		1		1		1		1		1	1	4		12
	計	35		3			2		1	1	1		1		1		1	3	5		16

図表4-10 地域別人数実績 / 8 区分不能

形態	分野	合計人数	計画・行政		公共・公益事業			農林水産				鉱工業		王手干	商業・観光		人的資源		保健・医療	社会福祉	その他
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業		工業	商業・貿易	観光	人的資源			
調査団	新規	96	4	1	2	6							2	4			4		10		63
	継続																				
	計	96	4	1	2	6							2	4			4		10		63

図表4-11 地域別人数実績 / 9 全世界

形態	分野	合計人数	計画・行政		公共・公益事業			農林水産				鉱工業		王手干	商業・観光		人的資源		保健・医療	社会福祉	その他		
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業		工業	商業・貿易	観光	人的資源				科学・文化	
研修員受入	新規	24,504	1,071	8,826	1,096	744	410	284	1,298	259	217	962	124	443	341	549	164	4,541	63	2,405	310	397	
	継続	1,294	45	95	37	38	33	5	127	40	15	41	3	70	19	62	10	383	24	234	13		
	計	25,798	1,116	8,921	1,133	782	443	289	1,425	299	232	1,003	127	513	360	611	174	4,924	87	2,639	323	397	
専門家派遣	短期	新規	3,051	104	558	67	206	113	33	244	49	125	74	19	62	73	57	10	464		489	232	72
		継続	255	6	30	1	14	2	6	21	1	9	10		6	11	4	1	46		59	18	10
		計	3,306	110	588	68	220	115	39	265	50	134	84	19	68	84	61	11	510		548	250	82
	長期	新規	437	66	71	9	21	15	6	52	9	13	10	1	9	5	7	3	59		62	3	16
		継続	1,175	148	137	16	56	42	17	167	29	72	45	20	31	34	22	3	146	3	142	18	27
		計	1,612	214	208	25	77	57	23	219	38	85	55	21	40	39	29	6	205	3	204	21	43
合計	新規	3,488	170	629	76	227	128	39	296	58	138	84	20	71	78	64	13	523		551	235	88	
	継続	1,430	154	167	17	70	44	23	188	30	81	55	20	37	45	26	4	192	3	201	36	37	
	計	4,918	324	796	93	297	172	62	484	88	219	139	40	108	123	90	17	715	3	752	271	125	
調査団派遣	新規	6,862	484	573	508	1,110	937	36	430	44	83	168	78	203	408	73	10	503	37	438	123	616	
	継続	130	18	11		22	15		19	2		2		1	1	2	8		6		23		
	計	6,992	502	584	508	1,132	952	36	449	46	83	170	78	203	409	74	12	511	37	444	123	639	
協力隊派遣	新規	1,804		184	7	1	39	3	237	36	27	11		97		2	18	601	124	301	22	94	
	継続	2,568		422	12	1	62	3	334	39	33	20		135		2	19	801	177	436	20	52	
	計	4,372		606	19	2	101	6	571	75	60	31		232		4	37	1,402	301	737	42	146	
その他ボランティア	新規	633	23	53	20	13	45	19	38	8	4	9	2	100	6	67	11	119	39	33	20	4	
	継続	892	38	90	19	30	36	25	45	11	4	13	4	156	10	74	15	184	43	43	27	25	
	計	1,525	61	143	39	43	81	44	83	19	8	22	6	256	16	141	26	303	82	76	47	29	

図表4-12 国別事業実績 / 1 アジア地域

P : 人数 E : 経費(千円)

国名	日本のODA(2005年)			JICAの技術協力(2005年度)															
	無償資金協力 (百万ドル)	技術協力 (百万ドル)	政府貸付等 (百万ドル)	技術協力経費 (億円)	形態別										技術協力 プロジェクト (件数)	開発 調査 (件数)			
					研修員		専門家		調査団		協力隊		その他ボランティア				機材供与 (百万円)		
					新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続					
アゼルバイジャン	6.82	1.43		2005	P	40	7	2	1	13								0.21	
				E	53,189		36,402		33,592										
アルメニア	1.57	3.75	0.05	2005	P	43		9	2	38								8.78	
				E	70,991		37,479		245,612										
インド	13.75	17.52	40.76	2005	P	210	5	40	13	103		2						36.88	
				E	194,871		268,117		334,145										
インドネシア	172.21	98.46	952.53	2005	P	949	113	231	137	642	3	31	39	13	41			394.75	
				E	1,412,977		3,046,849		3,117,614		220,745		226,138						
ウズベキスタン	15.91	9.33	29.20	2005	P	113	26	53	24	30		10	29	8	9			98.15	
				E	231,134		221,285		76,552		133,434		64,711						
カザフスタン	1.09	5.10	59.97	2005	P	65	28	21	10	31								22.63	
				E	139,815		145,733		90,927										
カンボジア	53.10	43.45	4.07	2005	P	368	27	208	58	249	6	20	33	14	28			338.33	
				E	550,076		1,903,061		1,408,816		184,555		203,474						
キルギス共和国	9.01	10.64	1.30	2005	P	7	369	1,280		2,779								40.26	
				E	5,892,106		13,394,265		12,949,988		2,277,844		1,076,785						
グルジア	4.83	1.99	0.50	2005	P	90	24	20	6	58		10	20	1	2			40.26	
				E	237,288		252,526		252,704		102,097		9,099						
シンガポール		1.74		2005	P	25	1			21								46.56	
				E	41,632		2,946		175,628										
スリランカ	97.38	27.29	188.19	2005	P	372	26	62	19	312	6	43	50	7	8			54.04	
				E	469,523		686,107		1,476,962		230,683		57,871						
タイ	3.17	66.80	-383.85	2005	P	604	42	126	73	215	11	27	49	38	22			178.08	
				E	997,398		1,357,765		536,506		254,746		217,213						
大韓民国		47.28	-107.91	2005	P					1								0.00	
				E															
タジキスタン	7.43	2.50		2005	P	94	20	2	1	29								76.86	
				E	161,612		18,843		69,062										
中華人民共和国	34.03	235.60	794.50	2005	P	1,307	60	318	74	323	3	42	61	3	5			538.48	
				E	1,540,762		1,473,976		1,216,841		353,943		31,403						
トルクメニスタン		0.13		2005	P	27												0.35	
				E	34,511														
ネパール	75.53	18.03	-30.15	2005	P	132	13	45	19	74	1	13	61	6	23			39.70	
				E	251,216		439,569		213,665		328,071		144,235						
パキスタン	31.11	18.60	24.05	2005	P	189	14	129	26	180		20	39	9	16			121.81	
				E	296,978		864,689		530,791		197,109		110,749						
バングラデシュ	44.43	30.32	-75.74	2005	P	179	21	61	22	61	4	37	60	1	4			23.63	
				E	300,340		571,993		271,929		315,807		28,906						
東ティモール	27.93	5.50		2005	P	88	2	48	18	64	2							5.21	
				E	113,900		404,939		98,087										
フィリピン	17.90	57.27	201.27	2005	P	1,220	90	181	89	256	10	42	76					527.96	
				E	984,036		1,678,704		660,620		402,923								
				累計	P	18,911		4,689		13,158		1,316						24,861.80	
				E	29,250,057		49,775,792		58,379,036		11,207,768								

国名	日本のODA(2005年)			JICAの技術協力(2005年度)													技術協力プロジェクト(件数)	開発調査(件数)
	無償資金協力(百万ドル)	技術協力(百万ドル)	政府貸付等(百万ドル)	技術協力経費(億円)	形態別										機材供与(百万円)			
					研修員		専門家		調査団		協力隊		その他ボランティア					
					新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続				
ブータン	8.08	8.72		2005	9.31	P	81	2	10	10	29		13	34	18	17	145.94	1
				E	149,484		276,193		40,399		159,448		159,757					
				累計	102.08	P	987		75		578		250		55			
ブルネイ		0.27		2005	0.00	P	2									416.32		
				E	26													
				累計	39.37	P	1,196		114		237							
ベトナム	50.58	71.70	480.36	2005	56.61	P	841	154	260	83	413	2	39	51	7	3	454.47	12
				E	897,680		2,274,004		1,642,435		312,191		46,036					
				累計	671.26	P	12,292		2,075		6,180		178		15			
マレーシア	0.53	33.00	-35.68	2005	17.23	P	441	22	91	23	72		21	38	19	29	55.66	2
				E	685,595		361,557		196,198		215,040		190,629					
				累計	1,051.54	P	13,552		2,538		6,300		1,187		112			
ミャンマー	6.65	19.03	-0.19	2005	16.41	P	262	13	95	32	50	1				261.00	3	
				E	292,099		994,374		90,640									
				累計	326.29	P	3,486		1,211		2,573							
モルディブ	21.13	3.10		2005	4.40	P	29				54		12	23		4.78		
				E	33,458		287		257,493		143,517							
				累計	52.68	P	629		47		310		225		4			
モンゴル	20.90	21.00	14.38	2005	14.57	P	158	10	55	12	57	10	38	47	28	15	71.83	3
				E	262,260		312,707		314,792		293,549		202,345					
				累計	262.69	P	1,701		599		2,414		249		70			
ラオス	23.35	29.54	1.15	2005	25.76	P	779	16	172	57	97	6	22	28	4	29	30.39	5
				E	568,766		1,419,996		194,905		163,206		147,922					
				累計	410.97	P	5,172		1,389		2,829		531		83			
香港		1.62		2005		P										386.59		
				E	371													
				累計	19.05	P	652		37		39							
マカオ		0.05		2005		P												
				E														
				累計	0.01	P	1											
マラッカ				2005		P												
				E														
				累計	5.99	P				125								
メコン				2005		P												
				E														
				累計	7.11	P				342								

図表4-13 国別事業実績 / 2 中東地域

アフガニスタン	44.37	26.71		2005	31.50	P	179	12	110	39	85	1				153.45	7	
				E	251,162		1,451,872		1,293,065									
				累計	122.13	P	994		396		909							914.16
アラブ首長国連邦		0.12		2005		P										210.75		
				E														
				累計	37.27	P	197		145		246							
アルジェリア	0.22	3.68	-2.04	2005	5.38	P	39	15	3	2	58				45.14	1		
				E	126,469		36,771		329,471									
				累計	56.75	P	521		259		343							1,522.06
イエメン	14.57	2.94	-9.07	2005	3.47	P	63	2	15	2	27		6	1	41.45	1		
				E	71,621		98,031		114,117		21,779							
				累計	76.26	P	475		191		525		38					1,553.50
イスラエル		0.66		2005		P												
				E														
				累計	0.45	P	27		2		33							
イラク	3,521.38	8.40	-26.93	2005	8.00	P	565								101.38	1		
				E	630,196				68,764									
				累計	66.37	P	2,254		102		199							1,072.27
イラン	0.55	11.63	-14.71	2005	8.91	P	100	15	12	15	79				11.42			
				E	213,401		264,806		400,815									
				累計	200.36	P	2,515		657		1,397							2,760.17
エジプト	51.55	11.05	-98.69	2005	10.17	P	108	9	31	10	87		21	27	3	5	51.40	2
				E	202,212		304,165		283,499		145,658		30,512					
				累計	532.12	P	4,835		1,581		3,627		113		10			

図表4-13 国別事業実績 / 2 中東地域 (続き)

P: 人数 E: 経費(千円)

国名	日本のODA(2005年)			JICAの技術協力(2005年度)																
	無償資金協力 (百万ドル)	技術協力 (百万ドル)	政府貸付等 (百万ドル)	技術協力経費 (億円)	形 態 別										技術協力 プロジェクト (件数)	開発 調査 (件数)				
					研修員		専 門 家		調 査 団		協 力 隊		その他ボランティア				機材供与 (百万円)			
新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続							
オマーン		3.72		2005	1.61	P	31	1	2	4	8							0.91		
				E	62,620				74,023			23,845								
				累計	135.92	P	497			150		1,226								
カタール		0.05		2005		P														
				E																
				累計	10.77	P	115			37		33								
クウェート		0.11		2005		P														
				E																
				累計	9.35	P	205			35		1								
サウジアラビア		5.18		2005	4.78	P	84	4	15	13	15									
				E	147,661			258,749			21,941									45.84
				累計	191.09	P	1,834			772		915								
シリア	1.50	10.60	-57.42	2005	11.16	P	156	6	23	7	11		45	37	15	22			53.72	
				E	165,859			454,361			28,721			266,206		137,095				
				累計	224.28	P	1,279			337		1,206			467		57			
スーダン	0.48	1.64		2005	1.66	P	33		1		20								0.61	
				E	42,465			41,996			81,081									
				累計	53.51	P	751			100		428			8					
チュニジア	0.57	9.08	41.44	2005	9.31	P	74	3	16	7	19	5	10	17	18	40			8.23	
				E	226,380			224,377			184,172			99,054		188,961				
				累計	184.65	P	867			255		951			282		94			
トルコ	0.77	12.43	-75.46	2005	9.86	P	339	8	22	19	25	1		1	12	11			128.98	
				E	269,838			408,064			60,716			5,706		96,534				
				累計	385.67	P	3,247			1,043		1,878			2		29			
バーレーン		0.16		2005	0.08	P	7													
				E	8,227															
				累計	13.53	P	234			30		5								
南イエメン				2005		P														
				E																
				累計	7.05	P	29			12		56								
モロッコ	2.22	13.04	-69.43	2005	11.39	P	62	1	15	17	60	1	28	44	19	13			20.53	
				E	149,779			358,279			278,659			235,486		96,472				
				累計	284.08	P	954			367		1,646			769		41			
ヨルダン	52.07	9.07	-37.60	2005	9.17	P	180	3	56	9	54		21	28	14	40			44.08	
				E	85,891			261,548			87,863			191,690		237,677				
				累計	245.60	P	1,307			454		1,372			296		129			
リビア		0.33		2005	0.01	P	1													
				E	634															
				累計	1.14	P	57			10		16								
レバノン	1.55	0.56	-1.14	2005	0.09	P	6													
				E	9,166						306									
				累計	11.35	P	158			16		153								
パレスチナ	1.14	4.66		2005	6.54	P	200	32	15	1	59								49.22	
				E	255,917			113,693			235,014									
				累計	31.82	P	1,096			18		218								
E	1,891,907			150,192			1,067,301													

図表4-14 国別事業実績 / 3 アフリカ地域

アンゴラ	23.40	2.90		2005	4.65	P	17	1			54	6								
				E	16,689				14,586			431,062								
				累計	26.81	P	159			4		363								
ウガンダ	4.80	9.64		2005	8.29	P	596	5	11	7	22		47	27					24.28	
				E	158,553			222,397			235,426			186,458						
				累計	107.80	P	1,597			169		567			99					
エチオピア	20.79	13.38		2005	13.35	P	58	7	30	22	50		17	25	3	1			136.71	
				E	116,669			680,430			244,840			144,802		10,052				
				累計	183.27	P	1,393			286		754			401		4			
エリトリア	5.48	1.76		2005	2.43	P	28		3	2	15								26.13	
				E	37,031			57,902			122,347									
				累計	11.66	P	148			11		131								
ガーナ	28.03	16.19		2005	18.54	P	109	27	34	20	79		55	53	5	3			85.33	
				E	321,794			690,616			291,714			422,943		37,233				
				累計	340.62	P	1,983			585		1,140			883		9			
E	6,031,304			8,861,600			5,916,001			8,789,690		66,245								

国名	日本のODA(2005年)			JICAの技術協力(2005年度)											技術協力プロジェクト(件数)	開発調査(件数)						
	無償資金協力(百万ドル)	技術協力(百万ドル)	政府貸付等(百万ドル)	技術協力経費(億円)	形態別						機材供与(百万円)											
					研修員		専門家		調査団			協力隊		その他ボランティア								
新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続									
カーボヴェルデ	2.72	0.11		2005	0.81	P	14				14							14.03				
				E	12,404					54,623												
				累計	14.93	P	142			7		173									118.72	
ガボン	5.40	1.40	-0.62	2005	0.85	P	21				3		12	1								
				E	27,598		17,241				93		39,756									
				累計	10.35	P	205			11		47		13							166.49	
カメルーン	9.04	1.67	8.56	2005	2.34	P	31	1			42											
				E	34,878						173,802											
				累計	33.51	P	443			18		305										536.93
ガンビア	2.61	1.77		2005	3.55	P	22				14											
				E	26,607						122,253											
				累計	23.84	P	158			7		204										485.28
ギニア	9.52	2.65	-0.22	2005	2.98	P	48	2	2	2	36											
				E	66,103		35,383				196,149											
				累計	53.80	P	461			27		497										412.94
ギニアビサウ		0.03		2005	0.04	P	7															
				E	4,073																	
				累計	5.09	P	87			3		46										15.84
ケニア	23.39	29.94	7.56	2005	30.09	P	212	21	87	39	121	3	52	61	11	4						
				E	425,612		1,482,630				455,068		376,340		35,567							
				累計	832.07	P	5,312			1,796		3,116		1,253		16						
コートジボワール	0.10	1.27		2005	0.67	P	46	2														
				E	66,896						100											
				累計	101.28	P	683			131		509		173								817.70
コモロ		0.03		2005	0.01	P	1															
				E	1,115																	
				累計	7.00	P	64			12		35										47.24
コンゴ共和国		0.17		2005	0.22	P																
				E																		
				累計	2.47	P	73			3		17										21.56
コンゴ民主共和国	2.72	19.65	353.89	2005	1.16	P	5,880	12														
				E	109,496		6,564															
				累計	67.66	P	6,174			160		305										699.87
サントメ・プリンシペ	1.31	0.22		2005	0.10	P	11															
				E	9,747																	
				累計	6.62	P	103			6		48										72.82
ザンビア	732.90	15.15	-616.15	2005	15.94	P	83	13	29	21	39	2	64	50	6	7						
				E	215,189		776,565				104,353		336,538		51,983							
				累計	410.81	P	1,714			550		1,341		1,016		23						5,257.88
シエラレオネ	2.14	1.73	-1.77	2005	2.33	P	17		4													
				E	37,447		63,481				124,581											
				累計	11.73	P	181			10		88										7.09
ジブチ	5.48	0.92		2005	0.72	P	12						10	9								
				E	18,795						52		52,735									
				累計	21.08	P	190			14		218		44								114.91
ジンバブエ	0.15	3.94		2005	3.52	P	60	7	3	1			19	43								
				E	94,454		46,698				7,059		203,863									
				累計	151.25	P	872			69		751		454								929.60
スワジランド	3.51	0.86	21.54	2005	0.73	P	21	2	1		1											
				E	31,304		36,974				4,561											
				累計	35.57	P	335			26		221										210.86
セーシェル		1.26		2005	1.12	P	19	1	2		8											
				E	29,297		10,957				59,429											
				累計	12.90	P	256			14		65										11.84
赤道ギニア		0.09		2005	0.05	P	2	1														
				E	4,769																	
				累計	3.03	P	66			1												29.24
セネガル	9.62	18.33		2005	18.27	P	704	1	32	15	26		58	65		1						
				E	309,868		654,751				401,875		338,393		7,137							
				累計	262.12	P	2,215			234		1,404		637		1						114.21
ソマリア	0.00	0.00	0.00	2005		P																
				E																		
				累計	8.68	P	95			21		44										2,358.00
						E	2,896,002		5,501,353				8,156,196		7,029,586		10,002			106.03		

図表4-14 国別事業実績 / 3 アフリカ地域 (続き)

P: 人数 E: 経費(千円)

国名	日本のODA(2005年)			JICAの技術協力(2005年度)															
	無償資金協力 (百万ドル)	技術協力 (百万ドル)	政府貸付等 (百万ドル)	技術協力経費 (億円)	形態別										技術協力 プロジェクト (件数)	開発 調査 (件数)			
					研修員		専門家		調査団		協力隊		その他ボランティア				機材供与 (百万円)		
新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続						
タンザニア	14.44	21.67		2005	23.81	P	611	16	37	25	112	1	59	77			98.57	2	4
				E	354,796		756,932		695,913		452,188								
				累計	585.41	P	5,781		775		2,446		1,163						
チャド		2.04		2005	2.63	P	14		1	3			27	2			14.46		1
				E	33,540		89,840		125,595										
				累計	5.80	P	130		4		38								
中央アフリカ	0.09	0.01		2005	0.10	P	2										9.69		
				E	657														
				累計	27.04	P	199		9		201								
トーゴ	1.57	0.29	-1.11	2005	0.18	P	18										5.66		
				E	18,245														
				累計	7.59	P	232		7		68								
ナイジェリア	1.78	4.09	63.79	2005	4.47	P	185	1	4	1	27	3					67.94		1
				E	123,526		74,230		181,808										
				累計	108.88	P	1,334		226		558								
ナミビア		0.41		2005	0.43	P	11	5					5				5.36		
				E	35,126		3				2,235								
				累計	19.55	P	240		18		139		5						
ニジェール	17.20	6.47		2005	7.46	P	39	3	4	7	26		54	60			52.05		1
				E	75,600		147,693		110,692		359,602								
				累計	141.69	P	449		51		706		481						
ブルキナファソ	12.85	6.02		2005	5.92	P	36		4	3	22		20	41			83.15		
				E	50,827		93,629		171,213		191,974								
				累計	53.92	P	261		13		399		122						
ブルンジ	1.66	0.25	-1.42	2005	0.30	P	8									22.65			
				E	7,505														
				累計	7.97	P	152		4		60		12						
ベナン	16.01	1.87		2005	2.51	P	34	2		4	16		8	2			38.86		
				E	45,350		86,540		54,824		24,299								
				累計	26.11	P	339		10		223		10						
ボツワナ	5.28	1.83	-7.97	2005	1.91	P	24	3		5			17	20	6	6	11.32		
				E	30,296						106,566		42,882						
				累計	41.54	P	330		11		96		205		15				
マダガスカル	178.92	8.19	-147.51	2005	8.03	P	49	4	15	10	62	4	16	21			4.37		
				E	77,102		164,765		415,337		132,341								
				累計	115.49	P	527		164		906		45						
マラウイ	18.79	13.84	-12.94	2005	11.25	P	416	12	22	8	47	3	59	72	8	1	55.14		2
				E	173,855		241,806		191,665		438,733		12,252						
				累計	272.70	P	1,415		232		897		1,307		11				
マリ	20.39	2.81		2005	3.66	P	26				36					131.68			
				E	48,006				317,786										
				累計	71.64	P	315		6		648								
南アフリカ共和国	11.07	5.89	-0.85	2005	5.64	P	48	1	33	11	20	3	6	13			11.94		
				E	115,741		224,834		124,235		76,323								
				累計	63.92	P	961		154		533		30						
モーリシャス	0.85	0.17	15.55	2005	0.09	P	10									353.20			
				E	8,854														
				累計	45.33	P	300		60		344								
モーリタニア	11.62	3.10		2005	2.43	P	31		5		21					15.88		1	
				E	33,988		92		193,420										
				累計	49.08	P	363		33		532								
モザンビーク	9.91	5.28	-0.43	2005	4.69	P	35	3	3	4	20		42	12		56.02		1	
				E	53,893		122,376		80,859		146,560								
				累計	60.84	P	437		44		668		54						
リベリア				2005	0.14	P					4					340.31			
				E					13,766										
				累計	38.45	P	237		31		120		170						
ルワンダ	1.78	1.94	-0.88	2005	2.36	P	21		3	2	28	3	12			13.34		1	
				E	42,139		44,405		123,518		12,461								
				累計	29.92	P	283		26		205		64						
レソト	6.30	0.38		2005	0.36	P	19	2								9.65			
				E	26,430														
				累計	7.45	P	230				51								
				E	375,092		307		210,988		13,082								

図表4-15 国別事業実績 / 4 北米・中南米地域

P: 人数 E: 経費(千円)

国名	日本のODA(2005年)			JICAの技術協力(2005年度)											技術協力プロジェクト(件数)	開発調査(件数)					
	無償資金協力(百万ドル)	技術協力(百万ドル)	政府貸付等(百万ドル)	技術協力経費(億円)	形態別						機材供与(百万円)										
					研修員		専門家		調査団			協力隊		その他ボランティア							
新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続								
アメリカ合衆国				2005	0.75	P			2	3	11							42.14			
				E			32,748			15											
アルゼンチン	0.14	13.26	-2.44	2005	9.58	P	113	12	25	6	41	1		2	30	43		15.34	5		
				E	246,050	183,060	211,527			11,413		288,831									
アンティグア・バーブーダ	5.36	0.06		2005	0.06	P		1													
				E	6,220																
ウルグアイ	0.39	3.60	-1.76	2005	2.98	P	48	4	6	1	6		1	2	21	19		4.65	1		
				E	80,661	35,700	31,325			7,609		137,992									
エクアドル	19.60	10.26	-23.55	2005	10.08	P	64	1	23	13	26		15	60	1	1		271.79	1		
				E	107,930	243,092	58,269			325,840		832									
エルサルバドル	2.47	5.76	14.56	2005	6.38	P	71	5	20	7	21		33	34				51.43	2	1	
				E	108,908	182,307	66,361			228,925											
ガイアナ	0.18	0.32		2005	0.68	P	6		1	1	13							8.99			
				E	9,612	10,100	39,424														
カナダ				2005	0.05	P	4				3							1.99			
				E	2,664				526												
キューバ	0.61	5.20		2005	4.18	P	49	12	2	1	46							12.15			
				E	188,920	26,307	190,459														
グアテマラ	20.20	6.98	5.66	2005	8.35	P	81	3	11	8	80		39	34	3	3		17.47	2		
				E	120,734	107,229	270,586			292,028		27,063									
グレナダ	1.10	0.07		2005	0.07	P	7											0.18			
				E	6,692																
コスタリカ	1.44	7.47	-10.32	2005	8.47	P	83	1	9	13	42		21	42	12	9		18.37	1	1	
				E	114,864	167,355	186,236			259,359		94,272									
コロンビア	7.05	6.37	-15.66	2005	7.16	P	196	9	5	1	42	3	9	8	7	5		23.64	3	1	
				E	252,499	39,266	282,147			73,899		44,549									
ジャマイカ	0.12	3.27	-21.33	2005	3.21	P	24				1	2	1	12	34	2	6		40.07		
				E	57,007	14,476	1,031			176,948		31,641									
スリナム		0.20		2005	0.19	P	2				5										
				E	2,972				16,073												
セントクリストファー・ネイビス	0.46	0.25		2005	0.09	P	1				4										
				E	1,822				7,587												
セントビンセント	2.12	1.08		2005	1.65	P	6			2	13		7	10				12.59			
				E	12,291	29,330	56,820			54,354											
セントルシア	0.09	1.22		2005	1.30	P	5				5		11	15	3	2					
				E	10,991				7,038		88,069		23,493								
チリ	1.40	10.77	-1.60	2005	8.46	P	85	9	21	11	34		27	24	11	13		57.73	2	1	
				E	158,917	244,915	61,001			191,594		127,700									
ドミニカ	0.03	0.81		2005	0.72	P	7			1			3	8							
				E	15,143	12,336			44,223												
ドミニカ共和国	1.51	9.99	-8.48	2005	11.57	P	65	10	12	7	57		24	52	18	46		34.57	2	1	
				E	149,039	153,283	220,636			289,269		308,932									
				累計	243.99	P	1,187	399			1,043		436	147				2,297.68			
				E	2,860,967	6,343,992	5,505,295			4,803,528		2,160,631									

特集

第1部

第2部

第3部

第4部

参考

第1章 事業実績統計

国別事業実績

図表4-15 国別事業実績 / 4 北米・中南米地域 (続き)

P: 人数 E: 経費(千円)

国名	日本のODA(2005年)			JICAの技術協力(2005年度)												技術協力プロジェクト(件数)	開発調査(件数)		
	無償資金協力(百万ドル)	技術協力(百万ドル)	政府貸付等(百万ドル)	技術協力経費(億円)	形態別						その他ボランティア	機材供与(百万円)							
					研修員		専門家		調査団				協力隊						
新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続								
トリニダード・トバゴ		1.96		2005	1.87	P	7	3	7								5.60		
				E	19,530	161,453													
				累計	31.47	P	142	69	138										409.03
ニカラグア	36.18	13.05		2005	11.10	P	64	16	5	72	29	70	7	3			85.90	3	
				E	83,573	236,445	303,038	373,106	26,051										
				累計	148.78	P	913	253	963	365	14							1,067.10	
ハイチ	0.43	0.51		2005	0.57	P	10	7	1								10.00		
				E	39,696	7,480													
				累計	12.49	P	178	15	146									115.59	
パナマ	0.39	8.07	-6.36	2005	8.31	P	65	9	8	13	17	19	36	15	16		27.38		
				E	116,471	304,494	37,382	206,953	138,347										
				累計	240.45	P	1,332	368	1,132	281	64							3,902.84	1
バハマ				2005		P	1									5.00			
				E	529														
				累計	0.63	P	22											14.14	
パラグアイ	2.35	16.67	8.45	2005	16.81	P	166	13	45	17	59	40	59	46	46		95.06		
				E	214,743	367,046	231,570	305,390	454,064										
				累計	736.54	P	2,916	1,380	2,335	884	189							12,367.06	7
バルバドス		0.62		2005	0.67	P	2	6	4										
				E	2,960	62,774	803												
				累計	8.96	P	80	40	2									138.29	
ブラジル	3.13	26.68	0.94	2005	21.61	P	227	29	43	18	64	7		29	67		78.76		
				E	655,065	425,858	437,025				549,763								
				累計	962.07	P	8,433	2,281	3,470	49	267							14,996.04	3
ベネズエラ	0.61	3.70		2005	2.28	P	54	1	3	3			19	15			11.62		
				E	95,273	49,442				71,617									
				累計	91.32	P	1,177	256	576	37								763.88	
ペリウ		1.90		2005	1.87	P	11					15	30						
				E	12,952		8,352	165,249											
				累計	8.39	P	114	2		57								92.85	
ペルー	1.58	8.08	34.31	2005	7.06	P	226	22	41	13	44			4	1		5.64		
				E	350,529	198,188	131,776			17,130									
				累計	434.77	P	5,712	849	1,950	205	5						6,860.10	2	
ポリビア	21.08	18.94	0.56	2005	19.16	P	887	20	27	30	51	26	86	6	37		195.10		
				E	290,740	589,854	240,064	381,237	206,805										
				累計	581.88	P	4,815	1,003	2,296	684	98						8,082.88	4	
ホンジュラス	432.60	11.03	-340.17	2005	11.64	P	321		13	9	52	34	67	18	18		47.33		
				E	98,476	286,020	111,686	448,289	172,131										
				累計	337.93	P	2,072	709	1,561	929	103						3,894.06		
メキシコ	0.64	16.55	-5.38	2005	16.85	P	135	50	48	12	28	15	33	17	32		89.55		
				E	661,803	505,659	40,372	213,467	157,261										
				累計	641.36	P	5,550	1,627	2,426	182	117						9,876.80	2	
英領モンセラット		0.05		2005		P	1												
				E	529														
				累計	0.07	P	1										6.14		
プエルトリコ				2005		P	0.02		982		934								
				E															
				累計		P													
蘭領アンティル				2005		P													
				E															
				累計	0.06	P											1.33		

図表4-16 国別事業実績 / 5 大洋州地域

オーストラリア				2005		P												
				E														
				累計	2.20	P	1	17	42								3.95	
キリバス	10.62	1.07		2005	0.29	P	22			1								
				E	27,478	1,086												
				累計	35.86	P	361	23	229								136.29	
サモア	8.10	4.43		2005	4.20	P	48	2	2	3	11	24	20	15	18		10.76	
				E	95,424	45,453	19,362	127,208	121,632									
				累計	96.39	P	663	85	313	401	53						761.46	

国名	日本のODA(2005年)			JICAの技術協力(2005年度)											技術協力プロジェクト(件数)	開発調査(件数)						
	無償資金協力(百万ドル)	技術協力(百万ドル)	政府貸付等(百万ドル)	技術協力経費(億円)	形態別												機材供与(百万円)					
					研修員		専門家		調査団		協力隊		その他ボランティア									
					新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続								
ソロモン	10.95	3.21		2005	2.93	P	39	2	1	2	41	1	8	1					12.95		1	
				E	50,101		35,503		177,464		16,928											
				累計	73.16	P	542		92		444		258									618.36
ツバル	0.37	0.68		2005	0.14	P	13															
				E	13,296				1,130													
				累計	11.35	P	144		6		64										28.88	
トンガ	8.71	2.53		2005	2.38	P	24	1					17	22	7	9						
				E	34,793						140,188		62,987									
				累計	80.53	P	502		82		263		307		25						943.15	
ナウル	0.91	0.33		2005	0.03	P	4															
				E	2,942																	
				累計	1.77	P	91		2		11											
ニュージーランド				2005		P																
				E																		
				累計	1.36	P	4		1		5										105.96	
バヌアツ	0.86	2.44	-0.10	2005	2.65	P	28	2	2	2	10		13	18	6	8					1.57	
				E	39,503		28,144		20,076		116,078		58,764									
				累計	41.45	P	311		32		176		149		17							251.06
バブアニューギニア	7.82	8.34	-21.32	2005	8.98	P	122	8	43	6	14		12	37	15	21					37.60	
				E	182,653		328,949		15,677		201,771		130,137									
				累計	219.59	P	3,024		322		967		466		43							1,801.38
パラオ	4.73	4.61		2005	5.35	P	27	2	12	5	21		14	26	6	11					24.93	
				E	45,960		158,046		72,969		154,310		78,510									
				累計	38.98	P	202		58		324		116		28							246.92
フィジー	3.86	10.12	-1.10	2005	8.69	P	79	6	32	9	9		22	39	22	21					10.99	
				E	137,696		292,259		21,156		219,269		187,536									
				累計	203.02	P	1,780		339		748		347		78							2,063.35
マーシャル	7.05	3.21		2005	2.19	P	17				7		21	26	2	3					4.43	
				E	18,657		2,670		13,935		156,548		23,077									
				累計	31.54	P	171		9		192		134		7							134.03
ミクロネシア	4.31	3.71		2005	4.96	P	28		1	2	50		17	27	5	2						
				E	36,969		21,699		262,840		146,609		28,134									
				累計	61.28	P	348		77		325		248		15							383.06
グアム				2005		P																
				E																		
				累計		P					1											
クック諸島		0.18		2005	0.11	P	10															
				E	11,401																	
				累計	7.54	P	142		22		43											29.86
ニウエ		0.09		2005	0.11	P	9															
				E	11,186																	
				累計	1.17	P	72															
ニュー・カレドニア				2005		P																
				E																		
				累計	0.02	P																
米領太平洋諸島				2005		P																
				E																		
				累計	0.14	P	5				7											8.49
マリアナ諸島				2005		P																
				E																		
				累計	0.02	P	1															

図表4-17 国別事業実績 / 6 ヨーロッパ地域

アイルランド				2005	0.00	P					2										
				E							1										
				累計	0.00	P						2									
アルバニア	3.27	0.70	13.66	2005	1.68	P	20	2			18										
				E	33,227		2,930		131,767												
				累計	13.26	P	195		5		128										
イタリア				2005		P															
				E																	
				累計	0.83	P				1		7									

図表4-17 国別事業実績 / 6 ヨーロッパ地域 (続き)

P: 人数 E: 経費(千円)

国名	日本のODA(2005年)			JICAの技術協力(2005年度)											技術協力プロジェクト(件数)	開発調査(件数)		
	無償資金協力(百万ドル)	技術協力(百万ドル)	政府貸付等(百万ドル)	技術協力経費(億円)	形態別						機材供与(百万円)							
					研修員		専門家		調査団			協力隊		その他ボランティア				
新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続							
ウクライナ	0.77	1.77		2005	0.79	P	22	2	1	1	14						2.99	
				E	27,428					23,772								24,728
英国				2005	0.00	P					3							
				E	234,579					75,493							115,961	
エストニア		0.20		2005	0.01	P	1											
				E														
オーストリア				2005	0.07	P					2							
				E														
オランダ				2005	0.06	P												
				E														
キプロス		0.05		2005	0.93	P												
				E														
ギリシャ				2005	3.45	P												
				E														
クロアチア	0.79	0.30	-0.55	2005	0.09	P	5	2										
				E														
スイス				2005	0.01	P												
				E														
スウェーデン				2005	0.15	P												
				E														
スペイン				2005	0.00	P												
				E														
スロバキア	0.42	0.39	27.93	2005	0.01	P	1											
				E														
スロベニア		0.23		2005	0.02	P												
				E														
セルビア・モンテネグロ	119.74	1.84		2005	1.63	P	33	3	6	1	18							
				E														
ソヴィエト連邦				2005	1.33	P												
				E														
チェコ		0.82		2005	0.02	P	1	1										
				E														
チェッコ・スロヴァキア				2005	5.96	P												
				E														
デンマーク				2005	0.05	P												
				E														
ドイツ				2005	0.00	P												
				E														
ノルウェー				2005	0.06	P												
				E														
ハンガリー	0.31	3.42		2005	1.23	P	4	4					6	17				
				E														
累計				2005	75.81	P												
				E														
							1,640,980	1,110,970	2,228,557	1,849,021						735.27		

国名	日本のODA(2005年)			JICAの技術協力(2005年度)											技術協力プロジェクト(件数)	開発調査(件数)	
	無償資金協力(百万ドル)	技術協力(百万ドル)	政府貸付等(百万ドル)	技術協力経費(億円)	形態別						機材供与(百万円)						
					研修員		専門家		調査団			協力隊		その他ボランティア			
新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続				
フィンランド				2005		P											
				累計	0.00	E				5							
フランス				2005	0.23	P		1		15							
				累計	5.68	E		21,397		164							
ブルガリア	0.30	7.27	35.23	2005	5.42	P	1	29		232							
				累計	102.76	E		109,960		289,629		106,442					6.15
ベルギー				2005		P	56	11	25	4	16	15	36	1			
				累計		E	105,488	184,778		45,145		185,412		59			21.29
ポーランド	0.01	5.52	-10.50	2005	1.92	P											
				累計	86.90	E											
ボスニア・ヘルツェゴビナ	6.26	6.45	3.97	2005	3.79	P	60	5	4	2	30						
				累計	38.37	E	176,283	89,113		110,030							1
ポルトガル				2005		P											
				累計	2.01	E											
マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	4.25	3.87	3.16	2005	3.80	P	22	1	2	1	38						
				累計	25.68	E	55,156	29,993		294,580							
マルタ		0.07		2005		P											
				累計	3.99	E											
モナコ				2005		P											
				累計	0.02	E					2						
モルドバ	2.79	0.92		2005	1.18	P	32	6		1	11						
				累計	10.80	E	80,610	10,956		26,350							0.04
ラトビア	0.01	0.25		2005		P											
				累計	4.31	E											
リトアニア		0.42		2005	0.01	P	4										
				累計	11.12	E	1,092										
ルーマニア	0.57	7.39	53.39	2005	7.32	P	59	10	9	6	41	25	26				
				累計	89.56	E	169,271	109,179		204,582		208,428					34.23
ロシア連邦				2005		P											
				累計	1.25	E											
コソボ				2005	0.20	P	8	2									
				累計	0.66	E	20,067										

表の数値について

- 「日本のODA(2005年)」内の数値は、外務省資料より(暫定値)
- 「JICAの技術協力(2005年度)」内の数値について。
 - 技術協力プロジェクトと開発調査の案件数は新規のみ。
 - 技術協力プロジェクトと開発調査の名称は、年報資料編CD-ROM「2005年度協力案件一覧」に記載。
 - 累計の人数は、新規のみの合計である。
 - 技術協力経費は、表示している形態の合計とは一致しない。
 - 集計には、地域内区分不能・その他の国(アジア等)は、含んでいない。

持続的な成長のために

WTO加盟を目前に控えたベトナムにとって、国際基準に準拠した政策・制度の構築や、民間主導の持続的な成長のための人材育成は急務です。ハノイとホーチミンで実施中の、これらソフト分野のプロジェクトを紹介します。



食品工業研究所強化計画

中小食品加工企業振興のため、食品工業研究所の研究・開発能力向上をめざす



消防近代化
旧ソ連時代のシステムで運営されている消防制度を更新

日本人材協力センタープロジェクト
市場経済を担う人材を育成するプロジェクト、ホーチミンの日本語コースの様相



ホーチミン工科大学地域連携機能強化プロジェクト
ベトナム南部地域の産学協同を可能にするため、大学の能力強化をめざす。パイロット事業の一つで、林業によるモデルタ開発の可能性を探っている



税関行政近代化のための指導者養成プロジェクト

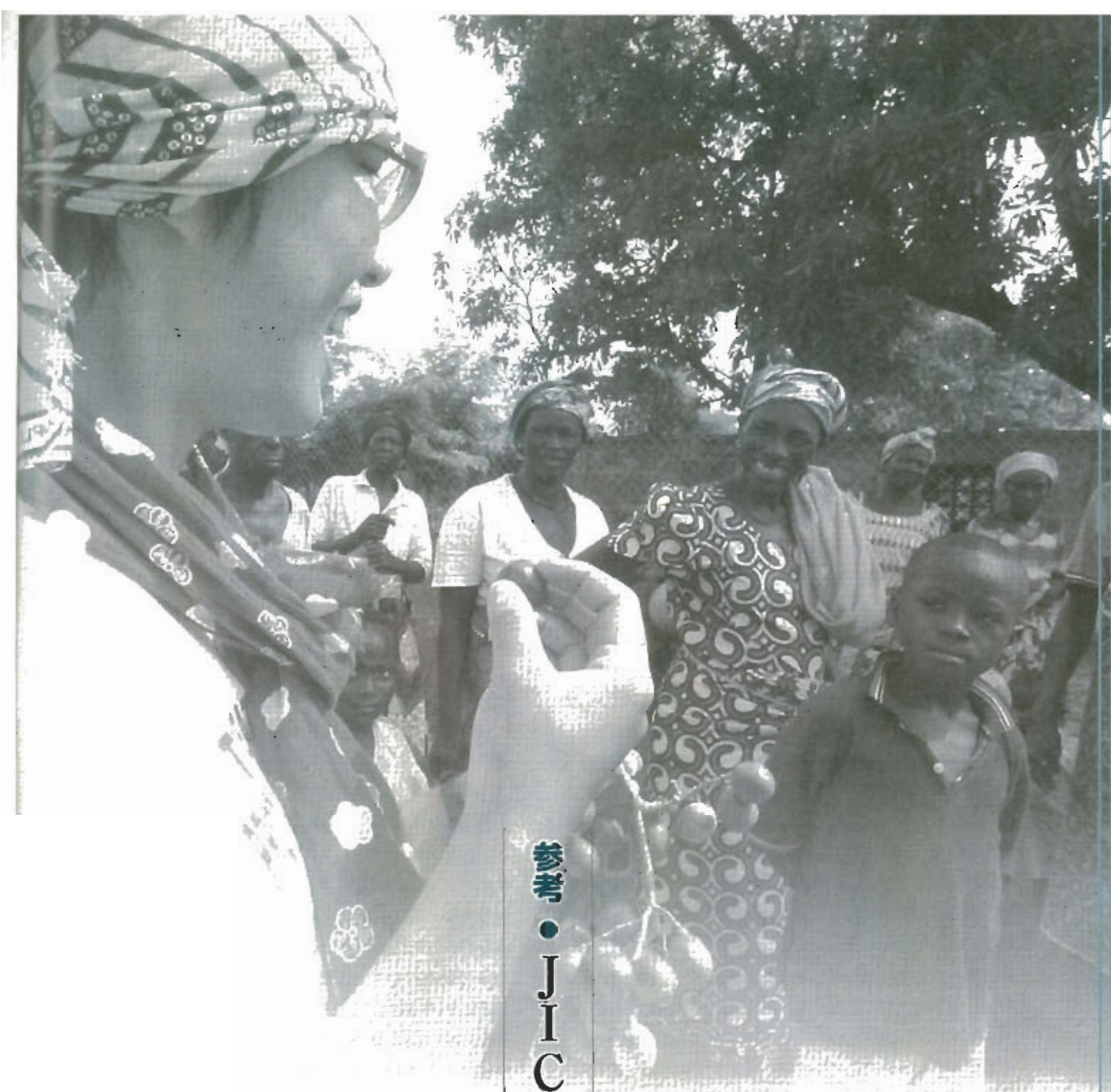
国際基準に則った税関制度と手続きを定着させる

ミハ工類殺虫技術向上計画
輸出を可能にするため、ドミニカフルーツの植物検疫技術を移転



水環境技術能力向上プロジェクト
急激な経済成長による汚染解決のため、水質分析・水処理技術向上・環境管理能力向上をめざす





参考・JICAの組織と予算

国際協力機構(JICA)の沿革	136
組織	138
JICAの歩み(1947~2006)	140
予算	141
財務諸表	142
JICA在外事務所など	146
国内機関の概要	148
2005年度 国際協力の動き	149
開発援助・JICA関連用語	150
ODAに関する情報文献(JICA作成)一覧	153

国際協力機構（JICA）の沿革

設立までの経緯

日本は1954(昭和29)年にコロンボプランに加盟し、開発途上国に対する技術協力を開始しました。第2次世界大戦後の荒廃からの復興のなか、1956(昭和31)年の国際連合への加盟により日本は国際社会に復帰しましたが、その端緒となったコロンボプランへの加盟は、技術援助国としての日本の地位が当時の国際的社会に認められたことを意味する画期的な出来事でした。当初の技術協力は、アジア諸国に対する研修員受入と専門家派遣事業を柱に、(社)アジア協会に委託される形で開始されました。その後、日本の経済・社会の発展にともない協力の拡大に対する期待が高まり、中東・アフリカ・中南米地域へも対象地域が広がるとともに、その規模も年々大きくなっていきました。

1955年前後からは、それまで単独の形態で実施されてきた研修員受入、専門家派遣、機材供与といった各種協力を複合的に組み合わせることで、より効果的な技術移転をめざす方式も採用されるようになりました。さらには、資金協力との連携により、技術移転の場となる研究所や教育機関などの施設や機材を充実させ、そのうえで計画的な技術協力を実施するという例も増えていきました。

そのような協力事業の拡大のなか、1962(昭和37)年には、それまで各種団体により分散実施されていた業務を総合的・効率的に実施するために、海外技術協力事業団が設立され、政府の技術協力事業が一元的に実施される基盤が整備されました。他方、1952(昭和27年)のサンフランシスコ講和条約の発効により再開された海外移住事業は、その後の送出者数の減少にともない、事業の重点が移住者の送出から既移住者の移住先における支援へ移行していき、1963(昭和38)年の海外移住事業団の設立により、移住者の送出と移住先における支援を一貫して行う体制が整備されました。

その後の1960年代から1970年代にかけての日本の高度経済成長は、日本の援助の量的拡大をもたらし、それにとともに援助のあり方についてのさまざまな議論が行われるようになりました。そうした状況のなか、政府の国際協力事業を一元的に実施する機関を設立する構想が生

まれ、1974(昭和49)年に、海外技術協力事業団と海外移住事業団と(財)海外農業開発財団の業務、(財)海外貿易開発協会の業務の一部を統合し、あらたに国際協力事業団を設立することが決定されました。

新事業団設立のための法律は、1974年5月、法律第62号として公布され、同年8月1日に国際協力事業団(JICA)が発足しました。

このようにして、JICAは特殊法人として設立されましたが、その後の行政改革の検討のなかで、特殊法人改革の方針が打ち出され、2001年12月に行政改革推進事務局の特殊法人等整理合理化計画により、JICAを独立行政法人化することが決定されました。そして、2002年12月の法律第136号の公布を受けて、翌2003年10月1日に独立行政法人国際協力機構(JICA)が発足し、国際協力の実施機関として、より成果重視と説明責任が明確な組織として再編されました。

事業の拡大・多様化

国際協力事業団(JICA)の発足当初の事業内容は、技術協力、青年海外協力隊派遣、開発投融资、海外移住、援助人材の養成・確保などでしたが、その後の日本の経済発展や技術進歩などにとともに、量的拡大や協力内容の多様化についての要求が高まりました。この結果、1978(昭和53)年度に無償資金協力の実施促進事業、1984(昭和59)年度に青年招へい事業、1987(昭和62)年度に災害援助等協力事業、1988(昭和63)年度に援助効率促進事業がそれぞれ追加されています。

また、発足当初から実施している技術協力も多様化が進み、たとえば、第三国研修(1974年度：以下数字は開始年度)、研究協力(1977)、国際機関との共同技術協力(1981)、マレーシア東方政策の一環としての研修員受入(1982)、ASEAN人造りセンター協力(1982)、民間技能者派遣(1987)、第二国研修(現地国内研修)(1993)、第三国専門家派遣(1994)、民間セクターアドバイザー専門家派遣(1996)、日本・中南米友情計画による福祉関係研修員受入(1996)、資金協力連携専門家(1997)、資金協力連携専門員(1997)、長期研修員(1999)、無償資

金協力調査員（1999）、草の根技術協力（2002）などにも取り組むようになりました。他方、2003年10月の独立行政法人化で事業の見直しが行われ、開発投融资事業、移住者送出事業、入植地事業と移住融資事業が廃止されています。

事業の多様化にともない、1974（昭和49）年度の発足当初には272億円であった予算は、2005（平成17）年度は1689億円となっています。また、海外の事務所は、発足当初は40カ所でしたが、2003年度には92カ所（詳細は後述）を運営するに至りました。

このような事業の伸びを人数実績で示すと、研修員受入数は2169人（1974年度）から2万4504人（2005年度）、専門家派遣数は513人（1974年度）から3488人（2005年度）、青年海外協力隊隊員派遣数は208人（1974年度）から1804人（2005年度）といった増加を見せています。

こうした事業の広がりにより、これまでの累計では、32万46人の研修員等受入、7万8699人の専門家派遣、2万8755人の青年海外協力隊隊員派遣などを行いました。

組織の整備・拡充

1974（昭和49）年度の国際協力事業団発足当初の組織は、本部内に17部1室1事務局、国内に12支部と8付属機関、海外に1代表部14海外事務所9海外支部16駐在員により構成されていました。2005（平成17）年度には、本部内に18部3室2事務局、国内に12センター3支部3協力隊訓練所と国際協力総合研修所、海外に56海外事務所22駐在員14協力隊調整員を配置しています。

本部事務所は、東京都新宿区西新宿の新宿三井ビル（発足当初の短期間を除く）に、また青年海外協力隊事務局を東京都渋谷区広尾に置いていましたが、1996（平成8）年4月に青年海外協力隊事務局を含め東京都渋谷区代々木の新宿マインズタワーに移転し、現在に至っています。

本部内の組織について大きな変化を見ると、発足当初には4部あった海外移住事業関係の部署が、1994（平成6）年度から1課体制となり、2001（平成13）年に決定された特殊法人等整理合理化計画に基づき、2003年10月の

独立行政法人化時に事業が廃止されました。一方、新規事業の実施のために、無償資金協力業務部（現無償資金協力部）、国際緊急援助隊事務局などが設置されています。さらに1999（平成11）年度には、国別・地域別アプローチなどの強化のため、アジア第一部、アジア第二部、中南米部、アフリカ・中近東・欧州部などが新設される大幅な組織改編が実施されました。

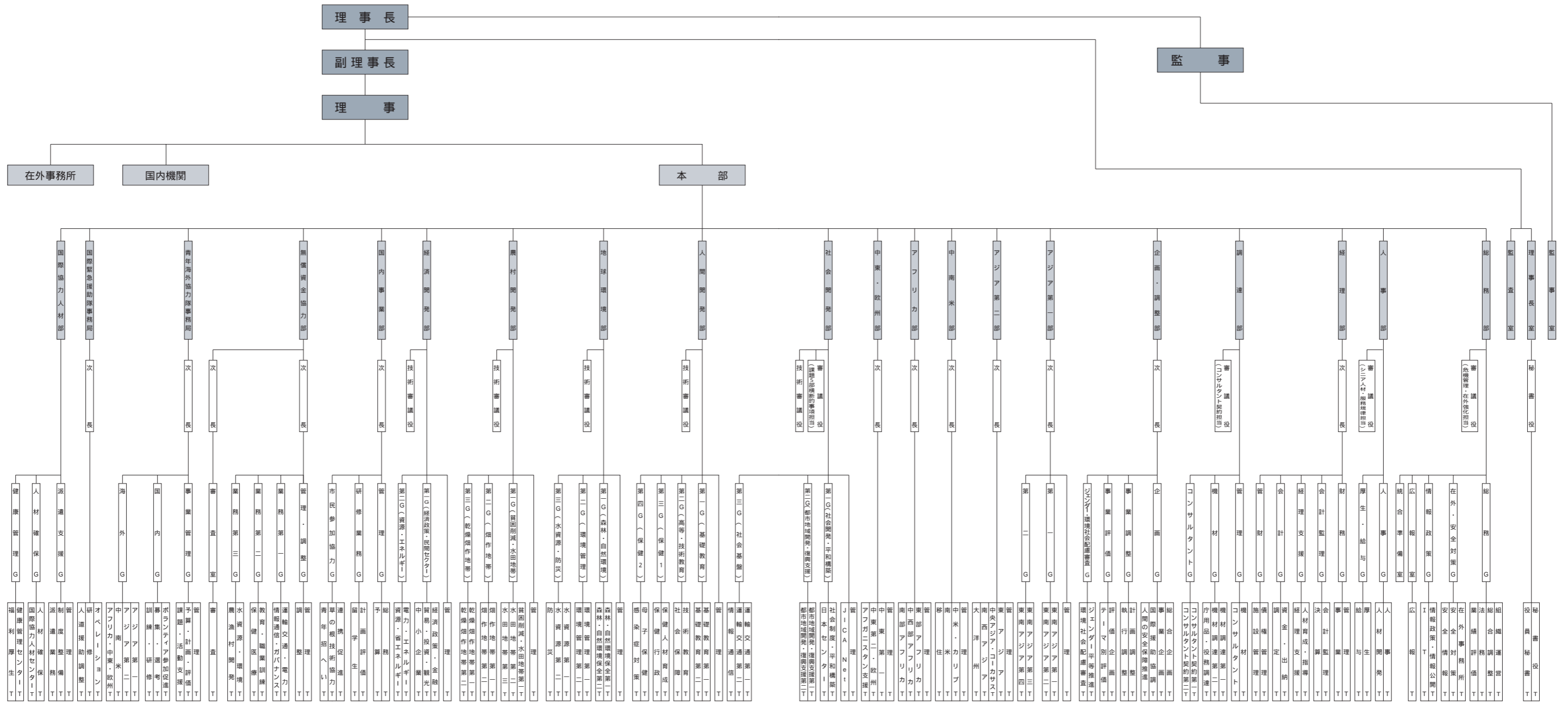
また、2004年4月には、スキーム別・分野別に分けられていた8部の事業実施部門を、地球環境・人間開発といった分野横断的な開発課題により5部に再編するとともに、中東・アフリカ地域の事業実施に対応するために、4部により構成されていた地域計画部門を5部に再編しました。この結果、2005（平成17）年度には、本部は18部3室2事務局によって構成されます。

国内機関については、人材養成を担当する国際協力総合研修所の開設（1983年）、海外移住研修所の廃止（1989年）、同一地域内の機関統合による国際センターの創設（1996年の筑波インターナショナルセンターと筑波国際農業研修センターの統合による筑波国際センターの設置など）、新規業務への合理化による対応（1996年の関西支部廃止による二本松青年海外協力隊訓練所の新設など）を行ってきました。この結果、2005（平成17）年度には、国内機関は12センター3支部3協力隊訓練所と国際協力総合研修所で構成されます。

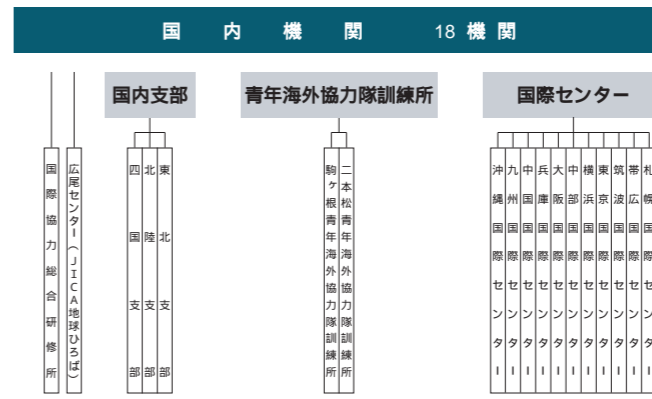
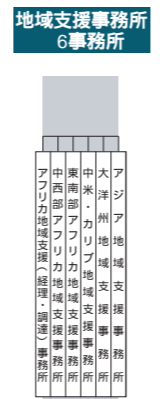
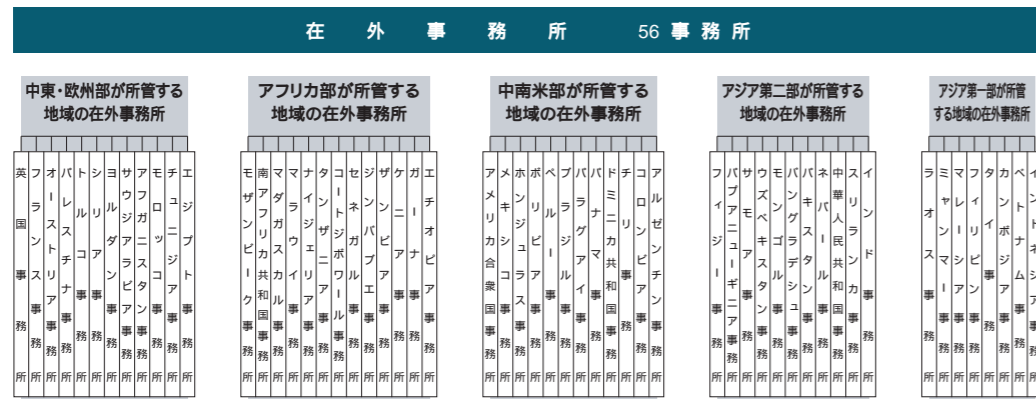
海外については、発足当初40の機関がありましたが、事業の拡大にともない、ジンバブエ、モンゴル、南アフリカ、パレスチナ、ウズベキスタンなどに事務所を開設したほか、2003（平成15）年度にはアフガニスタン事務所が開設されました。また、事務所のない国へ青年海外協力隊隊員を派遣する場合に、ボランティア調整員を配置するなどの対応を行っています。他方、1981年に中南米代表部（在ブラジル）を廃止したほか、ロサンゼルス、スーダン、カナダ、ブルネイなどの事務所の廃止を行っており、この結果、2005（平成17）年度には、海外機関は56事務所22駐在員14調整員で構成され、現在に至っています。

組織

図表5-1 2006年度機構図



注 G:グループ T:チーム



2006年7月1日現在

特集

第1部

第2部

第3部

第4部

参考

組織

JICAの歩み(1947~2006)

は日本の動き、は世界の動き

47	10	海外移住協会発足	78	4	無償資金協力実施促進業務開始 産業開発協力事業開始	96	3	緊急援助物資贈与 第三国専門家派遣事業開始
50	12	日本輸出銀行設立	7	7	政府、ODA3年倍増 (第1次中期目標)を国際公約	96	5	緊急無償・民主化支援開始
51	9	サンフランシスコ講和条約、 日米安全保障条約	79	4	中国への技術協力開始	96	4	本部「新宿マイズタワー」に移転 重要政策中枢支援協力事業開始
52	4	日本輸出銀行を 日本輸出入銀行に改称 国際通貨基金(IMF)、 国際復興開発銀行(IBRD)加盟	12	4	タイ・カンボジア難民救済対策として 医療協力事業開始	97	5	DAC新開発戦略発表
54	4	アジア協会設立 研修員受入事業開始	80	1	有田圭輔総裁就任	97	9	第2次中期事業展望策定
10	10	コロポ・プラン加盟	81	4	人口・家族計画協力事業開始	97	3	業務・組織改革タスクフォース
55	4	アジア協会が 専門家派遣事業開始	82	1	政府、ODA5年倍増計画の 新中期目標(第2次)設定	98	4	21世紀に向けての ODA改革懇談会発足
9	9	日本海外移住振興(株)設立 国際連合加盟	82	3	国際救急医療チーム発足	98	6	開発福祉支援事業開始
56	12	投資前基礎調査事業開始	83	4	ASEAN人造りセンター 協力事業開始	98	1	派遣専門家の一般公募 ODA懇談会最終報告発表
57	4	円借款開始(インド)	83	2	アフリカ開発銀行(AfDB)加盟 プラント委員会「世界の経済の 現状と南北問題に関する報告」	99	10	第2回アフリカ開発会議 (TICAD、東京)
58	2	中近東、アフリカ、中南米に 技術協力事業開始	10	4	国際協力総合研修所開設、 国際協力専門員制度発足	99	8	開発パートナー事業開始 ODAモニター第1陣フィリピン、 ラオス出発
4	4	メコン河総合開発に参加 海外技術協力センター事業開始	84	1	(社)青年海外協力協会発足	10	10	ODA中期政策決定 OECFと日本輸出入銀行を統合し 国際協力銀行設立
59	3	開発援助グループ(DAG) 発足・加盟	85	9	第3次ODA中期目標設定	00	1	機構改革
60	12	国際開発協会(IDA、第2世銀)加盟	86	4	国際緊急援助隊発足 第1回国別援助研究会 (フィリピン)発足	00	7	先進国首脳会議(九州・沖縄)
61	3	海外経済協力基金(OECF)設立	87	9	国際緊急援助隊法制定	00	8	情報公開推進室の設置 留学生支援無償開始
9	9	DAGを開発援助委員会(DAC)に 改称	88	1	柳谷謙介総裁就任	00	9	斉藤邦彦総裁就任
62	6	海外技術協力事業団(OTCA)設立	4	4	民間活力専門家派遣事業、 援助効率促進事業開始	01	5	国連ミレニアム・サミット 第2次ODA懇談会初会合
63	7	海外移住事業団設立	6	6	第1回分野別援助研究会(環境)発足	01	9	川上隆朗総裁就任
64	4	機材供与事業開始 OECDに正式加盟	89	4	第4次ODA中期目標設定 (財)日本国際協力システム(JICS) 設立	01	12	特殊法人等整理合理化計画 アフガニスタン復興支援 国際会議
11	11	アフリカ開発銀行(AfDB)設立	90	4	小規模無償資金協力(草の根無償)、 NGO事業補助金制度発足	02	3	第2次ODA改革懇談会最終報告
65	12	青年海外協力隊派遣開始	10	10	東欧地域に技術協力事業開始	02	6	日本NGO無償資金協力制度
66	4	医療協力事業、理科教育協力事業開始	11	11	環境ガイドライン	03	2	草の根技術協力
11	11	アジア開発銀行設立	12	12	ODA実績DAC諸国中第1位	03	8	政府開発援助大綱改訂(新ODA大 綱)
67	7	農業協力事業、開発技術協力事業開始	90	4	シニア協力専門家派遣事業開始	03	9	第3回アフリカ開発会議 (TICAD、東京)
8	8	東南アジア諸国連合(ASEAN)発 足	7	7	世界銀行からの借款返済終了	03	10	特殊法人国際協力事業団を解散し、 独立行政法人国際協力機構設立
68	7	食糧援助(KR)開始	10	10	ジュニア専門員制度発足	04	3	緒方貞子理事長就任 JICA宣言
69	3	一般無償資金協力事業開始	12	12	環境配慮ガイドライン	04	4	緒方理事長「JICA改革プラン」発表
70	4	研究協力事業開始	91	1	評価ガイドライン	04	4	JICA組織改革
71	4	移住者子弟技術研修開始	2	2	帰国専門家連絡会発足	04	9-10	環境社会配慮ガイドライン
72	4	オセアニア地域に 技術協力事業開始	92	2	中央アジア諸国に対する 技術協力事業開始	04	10	6地域支援事務所開設
73	4	災害緊急援助開始	6	6	政府開発援助大綱閣議決定 国連環境開発会議(UNCED)開催	04	12	国際協力50周年記念シンポジウム開催
74	8	国際協力事業団設立、 法眼晋作総裁就任 国際協力事業(開発投資) 人材養成確保事業開始	8	8	国際緊急援助隊 民間援助物資輸送業務開始	05	1	スマトラ沖大地震・インド洋津波発生、 国際緊急援助隊派遣
75	3	第三国研修開始 (タイ養蚕研究訓練センター)	12	12	WID配慮の手引書	05	3	国連世界防災会議(神戸)
7	7	対外経済協力閣僚会議発足	93	2	ICSC(財)日本国際協力 センター(JICE)に改称	05	4	緒方理事長「JICA改革プラン第二弾」 発表
76	4	(社)協力隊を育てる会発足	6	6	第二国研修開始	05	4	30事務所で在外主管を本格導入 業務軽量化推進体制発足
7	7	米州開発銀行(IDB)加盟	7	7	第5次ODA中期目標設定	05	7	仕事と家庭の両立のための行動計画 (ワークライフバランス)策定
77	3	(財)国際協力サービスセンター (ICSC)設立	10	10	日米コモンアジェンダ発表	05	10	ファスト・トラック制度導入
4	4	食糧増産援助(2KR)開始	94	8	アフリカ開発会議 (TICAD、東京)	06	3	パキスタン地震災害に国際緊急援助隊派遣 青年海外協力隊発足40周年
5	5	政府、ODA5年倍増を表明	95	1	藤田公郎総裁就任 神戸・淡路大震災へ	06	3	八王子国際センター閉鎖

予算

JICA 予算の財源は、運営費交付金、受託費(経済産業省、農林水産省) 自己収入、自己資金から構成されています。2006年度の支出予算は1644億で、前年度比45億円減となっています。なお、JICAが実

施促進業務を行っている無償資金協力の事業規模は、1104億円です。また、2006年度収入支出予算の内訳は、図表5-2のとおりです。

図表5-2 2006年度収入支出予算

(単位: 百万円)

区 別		2005年度	2006年度
収入	運営費交付金	160,077	157,516
	受託収入	4,163	3,108
	開発投融资貸付金利息収入	220	175
	入植地割賦利息収入	4	4
	移住投融资貸付金利息収入	75	77
	その他収入	2,881	2,803
	うち施設利用収入	2,571	2,493
	寄付金	1	1
	雑収入	309	309
	施設整備資金より受入	1,097	624
	計	168,516	164,307
支出	一般管理費	10,645	10,249
	うち人件費	7,574	7,285
	物件費	3,071	2,964
	業務経費	150,116	147,669
	うち国・課題別事業計画関係費	5,286	4,615
	技術協力プロジェクト関係費	85,125	84,749
	無償資金協力関係費	4,758	4,487
	国民参加型協力関係費	25,902	24,869
	海外移住関係費	525	502
	災害援助等協力関係費	861	852
	人材養成確保関係費	3,395	3,270
	事業評価関係費	878	910
	事業附帯関係費	8,539	8,168
	国内機関関係費	3,913	3,789
	在外事務所関係費	10,934	11,458
	施設整備費	1,097	624
	受託経費	4,163	3,108
	業務支援経費	2,871	2,750
	うち施設運営費	2,571	2,493
	民間協力特別支援費	299	257
計	168,892	164,400	

(注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

財務諸表

図表5-3 貸借対照表 (2006年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債および資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	41,888,871,593	流動負債	27,695,961,601
現金および預金	38,661,509,775	運営費交付金債務	5,026,651,805
未収入金	275,008,252	預り寄附金	1,000,000
たな卸資産	754,582,558	未払金	21,268,883,789
貯蔵品	745,263,789	未払費用	458,390,231
畜類	9,318,769	リース債務	243,407,486
前渡金	420,110,403	前受収益	327,000
前払費用	144,522,830	預り金	347,301,062
未収収益	51,501,284	その他	350,000,228
その他	1,581,636,491	仮受金	350,000,228
仮払金	46,421,877	固定負債	1,953,525,662
立替金	5,368,152	資産見返負債	1,554,463,109
開発投融資短期貸付金	1,480,945,754	資産見返運営費交付金	1,489,245,809
貸倒引当金	11,244,330	資産見返補助金等	65,217,300
移住投融資短期貸付金	68,565,422	長期リース債務	399,046,053
貸倒引当金	9,105,488	長期前受収益	16,500
短期入植地割賦元金	731,636	負債合計	29,649,487,263
貸倒引当金	46,532	資本金	88,508,041,131
固定資産	71,654,517,998	政府出資金	88,508,041,131
1 有形固定資産	60,916,840,977	資本剰余金	6,433,859,543
建物	42,538,878,070	資本剰余金	47,440,149
減価償却累計額	4,929,801,527	損益外減価償却累計額	6,386,419,394
構築物	1,474,462,069	利益剰余金	1,819,720,740
減価償却累計額	369,597,365	積立金	964,278,921
機械装置	242,866,501	当期末処分利益	855,441,819
減価償却累計額	144,091,185	(うち当期総利益)	855,441,819
車両運搬具	1,133,623,768	資本合計	83,893,902,328
減価償却累計額	468,311,363	負債資本合計	113,543,389,591
工具器具備品	2,469,858,442		
減価償却累計額	866,407,697		
土地	19,825,543,764		
建設仮勘定	9,817,500		
2 無形固定資産	21,620,580		
商標権	4,485,651		
その他	17,134,929		
電話加入権	12,189,450		
電気等供給施設利用権	4,945,479		
3 投資その他の資産	10,716,056,441		
投資有価証券	36,220		
関係会社株式	428,445,102		
長期貸付金	8,958,256,772		
開発投融資長期貸付金	6,945,952,449		
貸倒引当金	63,282,584		
移住投融資長期貸付金	5,023,497,110		
貸倒引当金	2,947,910,203		
その他	1,329,318,347		
差入保証金	1,328,519,106		
長期入植地割賦元金	105,518,329		
貸倒引当金	104,719,088		
資産合計	113,543,389,591		
合 計	113,543,389,591	合 計	113,543,389,591

図表5-4 損益計算書 (2005年4月1日～2006年3月31日)

(単位:円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
経常費用	166,833,925,649	経常収益	167,730,037,969
業務費	156,663,694,815	運営費交付金収益	160,905,309,135
国・課題別事業計画関係費	4,998,692,554	受託収入	2,982,676,189
技術協力プロジェクト関係費	87,973,240,144	開発投融资収入	215,274,863
無償資金協力関係費	4,474,673,389	入植地事業収入	8,090,261
国民参加型協力関係費	25,709,264,397	移住投融资収入	68,326,296
海外移住関係費	493,477,552	施設利用収入	1,998,415,894
災害援助等協力関係費	929,710,093	寄附金収益	943,676
人材養成確保関係費	2,950,048,091	資産見返運営費交付金戻入	255,418,825
事業評価関係費	773,598,274	資産見返補助金等戻入	17,325,229
事業附帯関係費	8,226,360,327	財務収益	20,832,413
国内機関関係費	4,314,434,142	受取利息	20,832,413
在外事務所関係費	10,000,779,481	雑益	692,471,617
業務支援経費	2,525,908,323	外国為替差益	564,953,571
受託経費	2,982,676,189		
減価償却費	310,831,859	臨時利益	632,306
一般管理費	10,038,969,279	固定資産売却益	632,306
一般管理費	10,038,969,279		
貸倒引当金繰入	118,762,824		
財務費用	11,806,307		
支払利息	11,806,307		
雑損	692,424		
臨時損失	41,302,807		
固定資産除却損	34,631,897		
固定資産売却損	6,670,910		
当期総利益	855,441,819		
合計	167,730,670,275	合計	167,730,670,275

図表5-5 キャッシュ・フロー計算書 (2005年4月1日～2006年3月31日)

(単位:円)

業務活動によるキャッシュ・フロー	
事業支出	138,545,635,524
業務支援費支出	2,111,778,509
受託経費支出	3,069,284,540
人件費支出	17,381,985,730
その他の業務支出	233,782,862
貸付金利息収入	278,657,548
入植地事業収入	40,591,306
利息収入	8,358,979
割賦元金	32,232,327
運営費交付金収入	160,076,920,000
受託事業収入	2,990,074,781
施設利用収入	1,998,415,894
寄附金収入	1,943,676
その他の収入	1,169,993,633
小計	5,214,129,673
利息の受取額	21,892,548
利息の支払額	11,806,307
業務活動によるキャッシュ・フロー	5,224,215,914
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	1,041,138,903
固定資産の売却による収入	36,900,311
貸付けによる支出	419,199,775
貸付金の回収による収入	1,993,343,822
定期預金の預入による支出	8,600,000,000
譲渡性預金の払戻による収入	5,900,000,000
関係会社の清算に伴う残余財産の分配による中間収入	350,000,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,780,094,545
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	169,431,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	169,431,182
資金に係る換算差額	82,402,347
資金増加額	3,357,092,534
資金期首残高	3,504,417,241
資金期末残高	6,861,509,775

図表5-6 利益の処分にに関する書類

(単位:円)

当期末処分利益		855,441,819
当期総利益	855,441,819	
利益処分量		
積立金	855,441,819	
	855,441,819	855,441,819

図表5-7 行政サービス実施コスト計算書 (2005年4月1日~2006年3月31日)

(単位:円)

業務費用			160,322,611,370
損益計算書上の費用			
業務費	156,663,694,815		
一般管理費	10,038,969,279		
貸倒引当金繰入	118,762,824		
財務費用	11,806,307		
雑損	692,424		
固定資産除却損	34,631,897		
固定資産売却損	6,670,910	166,875,228,456	
(控除)自己収入等			
受託収入	2,982,676,189		
開発投融資収入	215,274,863		
入植地事業収入	8,090,261		
移住投融資収入	68,326,296		
施設利用収入	1,998,415,894		
寄附金収益	943,676		
財務収益	20,832,413		
雑益	692,471,617		
外国為替差益	564,953,571		
固定資産売却益	632,306	6,552,617,086	
損益外減価償却等相当額			2,431,579,800
損益外減価償却相当額	2,430,283,162		
損益外固定資産除却相当額	1,296,638		
引当外退職給付増加見積額			1,413,485,787
機会費用			
政府出資等の機会費用			1,473,911,994
行政サービス実施コスト			162,814,617,377

重要な会計方針

1. 運営費交付金収益の計上基準

費用進行基準を採用しています。

2. 減価償却の会計処理方法

(1)有形固定資産

定額法を採用しています。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりです。

建物	2~50年
構築物	1~39年
機械装置	1~20年
車両運搬具	1~6年
工具器具備品	1~18年

また、特定の償却資産(独立行政法人会計基準第86)の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として資本剰余金から控除して表示しています。

(2)無形固定資産

定額法を採用しています。

3. 退職給付にかかる引当金および見積額の計上基準

退職一時金については、運営費交付金により財源措置がなされるため、退職給付にかかる引当金は計上していません。

厚生年金基金から支給される年金給付については、運営費交付金により厚生年金基金への掛金および年金基金積立不足額に関して財源措置がなされるため、退職給付にかかる引当金は計上していません。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、会計基準第38に基づき計算された退職給付引当金の当期増加額を計上しています。

4. 引当金等の計上根拠および計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

5. 有価証券の評価基準および評価方法

(1) 関連会社株式

総平均法による原価法を採用しています。

(2) その他有価証券(時価のないもの)

総平均法による原価法を採用しています。

6. たな卸資産の評価基準および評価方法

貯蔵品

先入先出法による低価法を採用しています。

7. 外貨建資産および負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しています。

8. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

政府出資または地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の2006年3月末利回りを参考に1.770%で計算しています。

9. リース取引の処理方法

リース料総額が3百万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引にかかる方法に準じた会計処理によっています。

リース料総額が3百万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっています。

10. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

注 記 事 項

貸借対照表関係

運営費交付金から充当されるべき退職手当の見積額

27,338,185,451円

ア 退職給付債務およびその内訳

	2005事業年度
(1)退職給付債務	37,755,570,495
(2)年金資産	10,417,385,044
(3)未積立退職給付債務(1)×(2)	27,338,185,451
(4)会計基準変更時差異の未処理額	0
(5)未認識数理計算上の差異	0
(6)未認識過去勤務債務(債務の減額)	0
(7)貸借対照表計上額純額(3)×(4)×(5)×(6)	27,338,185,451
(8)前払年金費用	0
(9)退職給付引当金(7)-(8)	27,338,185,451

イ 退職給付費用の内訳

	2005事業年度
(1)勤務費用	928,592,000
(2)利息費用	478,013,540
(3)期待運用収益	0
(4)過去勤務債務の費用処理額	0
(5)数理計算上の差異の費用処理額	339,986,142
(6)その他(厚生年金基金加入者掛金)	334,578,655

ウ 退職給付債務などの計算基礎

	2005事業年度
(1)割引率 退職年金	2.0%
(2)退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準
(3)数理計算上の差異の処理年数	1
(4)その他(会計基準変更時差異の処理年数、実際運用収益等)	1

キャッシュ・フロー計算書関係

キャッシュ・フロー計算書における資金は、現金、普通預金、当座預金です。

(1) 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	(2006年3月31日現在)
現金および預金	38,661,509,775円
定期預金	31,800,000,000円
資金の期末残高	6,861,509,775円

(2) 重要な非資金取引の内容

	(2006年3月31日現在)
ファイナンス・リースによる資産の取得	
車両運搬具	26,030,534円
工具器具備品	749,257,311円
合計	775,287,845円

行政サービス実施コスト計算書関係

公務員からの出向職員にかかる機会費用の対象者数

引当外退職給付増加見積額のうち33,479,260円は、出向職員(延べ40人)にかかる退職給付引当金の当年度増加額を内規に基づき計上しています。

持分法損益等

JICAには特定関連会社がないため、連結財務諸表を作成していません。また、関連会社は日伯農業開発協力㈱のみですが、同社は2005年10月20日に解散決議を行い、当期末において清算手続中です。したがって、同社は通常の営業活動を行っていないため、持分法を適用した場合の損益等は記載していません。なお、直近の財政状態(2005年12月31日現在)は以下のとおりです。

純資産高	951,063,650円
JICAの持分相当	475,531,825円
日伯農業開発協力㈱株式の帳簿価額	428,445,102円

重要な債務負担行為

該当事項はありません。

重要な後発事象

該当事項はありません。

JICA在外事務所など

在外事務所

アジア地域

JICA Bangladesh Office(バングラデシュ事務所)
UDAY TOWER(7th Floor), Plot No.57 & 57/A, Gulshan Av.
(South), Circle-1, Dhaka-1212, BANGLADESH
(Banani P.O.Box No.9030, Dhaka-1213, BANGLADESH)
(880-2)9891897

JICA Cambodia Office(カンボジア事務所)
House No.+448AEo, Monivong Blvd.,
Sangkat Tonle Bassac, Khan Chamkarmon,
Phnom Penh, CAMBODIA
(P.O.Box 613, Phnom Penh, CAMBODIA)
(855-23)211673

JICA China Office(中華人民共和国事務所)
中華人民共和国北京市朝陽区東三環
北路5号北京發展大廈1111号室(郵便番号100004)
TEL(86-10)6590-9250

JICA India Office(インド事務所)
3A, 3rd Floor, Lotus Towers Community Centre, New Friends
Colony, New Delhi-110065, INDIA
(91-11)4167-2580

JICA Indonesia Office(インドネシア事務所)
Plaza B II Tower II 27th Floor, Jl. M.H. Thamrin 51,
JAKARTA Pusat 10350, INDONESIA
(62-21)390-7533

**JICA Kyrgyz Republic Office
(キルギス共和国事務所)**
3rd Floor, Demir Kyrgyz International Bank Building, 245, Chu
Av., Bishkek, 720001, Kyrgyz Republic
(996-312) 900270

JICA Laos Office(ラオス事務所)
SIHOM COMMERCE CENTER BUILDING 3rd Floor,
Building No. 006, Luangprabang Road Ban Sihom,
Chanthabouly District, Vientiane City, LAO P.D.R.
(P.O.Box 3933, Vientiane, LAO P.D.R.)
(856-21)241100

JICA Malaysia Office(マレーシア事務所)
Suite 29.03, Level 29, Menara Citibank,
165, Jalan Ampang, 50450 Kuala Lumpur, MALAYSIA
(60-3)21668900

JICA Mongolia Office(モンゴル事務所)
7F, Bodi Tower Sukhbaatar Square 3,
Ulaanbaatar, MONGOLIA
(Central P.O.Box 682, Ulaanbaatar 13, MONGOLIA)
(976-11)325939

JICA Myanmar Office(ミャンマー事務所)
#701, 7th Floor, Sakura Tower, 339 Bogyoke Aung San Road,
Kyauktada Township, Yangon, MYANMAR
(郵便物は下記日本大使館宛)
(c/o Technical Cooperation Section, Embassy of Japan, No. 100
Natmauk Road, Yangon, MYANMAR, P.O. Box 841)
(95-1)255473

JICA Nepal Office(ネパール事務所)
Block B, Karmachari Sanchaya Kosh Building
Hariharbhavan, Lalitpur, NEPAL
(P.O.Box 450, Kathmandu, NEPAL)
(977-1)5552711

JICA Pakistan Office(パキスタン事務所)
Comsats Building, 3rd Floor,
Shahrah-e-Jamhuriat G-5/2, Islamabad, PAKISTAN
(P.O.Box 1772 Islamabad, PAKISTAN)
(92-51)2829473

JICA Philippines Office(フィリピン事務所)
40th Floor, Yuchengco Tower RCBC Plaza, Ayala Av., Makati
City, PHILIPPINES
(P.O.Box 1026, Makati Central Post Office, Makati City
PHILIPPINES)
(63-2)889-7119

JICA Sri Lanka Office(スリランカ事務所)
Green Lanka Tower, 5th Floor, 46/46,
Nawam Mawatha, Colombo-2, SRI LANKA
(P.O.Box No.2068, Colombo, SRI LANKA)
(94-11)2303700

JICA Thailand Office(タイ事務所)
1674/1 New Petchburi Road, Bangkok 10320, THAILAND
(66-2)251-1655

JICA Timor-Leste Office(東ティモール事務所)
No.26, Farol Area, Dili, TIMOR-LESTE
(CPA No.83, Dili, TIMOR-LESTE)
(670)3312420

JICA Uzbekistan Office(ウズベキスタン事務所)
5th Floor, International Business Center, 107-B,
Amir Temur St., Tashkent 700084, UZBEKISTAN
(998-71)120-7966

JICA Viet Nam Office(ベトナム事務所)
16th Floor, Office Tower, Daeha Business Center,
360 Kim Ma St., Ba Dinh District, Hanoi, VIET NAM
(84-4)8315005

大洋州地域

JICA Fiji Office(フィジー事務所)
7th Floor, Dominion House, Suva, FIJI
(JICA Private Mail Bag, Suva, FIJI)
(679)330-2522

**JICA Papua New Guinea Office
(バブアニューギニア事務所)**
1st Floor, Pacific Place Building, Musgrave St., Port Moresby,
PAPUA NEW GUINEA
(P.O.Box 1600, Port Moresby, N.C.D., PAPUA NEW
GUINEA)
(675)321-2677

JICA Samoa Office(サモア事務所)
Mulivai, Apia, SAMOA
(P.O.Box No.1625, Apia, SAMOA)
(685)22572

中南米地域

JICA Argentine Office(アルゼンチン事務所)
JICA Oficina en Argentina
Edificio Maipú 1300, piso 21 C1006ACT Buenos Aires,
ARGENTINA
(54-11)4313-8901

JICA Bolivia Office(ボリビア事務所)
Agencia de Cooperación Internacional del Japon en
BOLIVIA
Av. Victor Sanjinés No.2678 Edificio Barcelona Piso 5 La Paz,
BOLIVIA
(Cajón Postal No.11447 La Paz, BOLIVIA)
(591-2)2422221

JICA Brazil Office(ブラジル事務所)
Escritório Anexo da Embaixada do Japão
JICA BRAZIL Office
SCS - Quadra 01 - Bloco "F" Ed. Camargo Corrêa 12°
andar Brasília - DF - BRAZIL
(Caixa Postal, 09942, Cep 70.040 - 976 - Brasília - DF -
BRAZIL)
(55-61)3321-6465

JICA Chile Office(チリ事務所)
Av. Apoquindo 3650, Of.704, Las Condes, Santiago, CHILE
(Casilla 16137, Correo 9, Santiago, CHILE)
(56-2)208-9990

JICA Colombia Office(コロンビア事務所)
JICA Oficina en Colombia
Carrera 7, No.73-55, Piso 13, Edificio Ultra Bursátiles,
Bogotá D.C., COLOMBIA
(Apartado Aéreo No. 90861, Bogotá D.C., COLOMBIA)
(57-1)312-1117

**JICA Dominican Republic Office
(ドミニカ共和国事務所)**
Av. Sarasota No.20, Edificio Torre Empresarial AIRD,
Piso 7, La Julia, Santo Domingo, REPUBLICA DOMINICANA
(Apartado Postal No.1163, Santo Domingo, REPUBLICA
DOMINICANA)
(1-809)381-0005

**JICA El Salvador Office
(エルサルバドル事務所)**
(郵便物・機材等の宛先は必ずスペイン語表記で)
Oficina Residente Representativa de JICA
Calle y Colonia La Mascota No.521-A, San Salvador, EL
SALVADOR, C.A.
(Apartado Postal No.01-114, San Salvador, EL SALVADOR,
C.A.)
(503)22630940

JICA Honduras Office(ホンジュラス事務所)
JICA Oficina en Honduras
Calle Santa Rosa Colonia Lomas del Mayab, Casa No.1346,
Tegucigalpa, M.D.C., HONDURAS, Central America
(Apartado Postal No. 1752, Tegucigalpa, M. D. C.,
HONDURAS, Central America)
(504)232-6727

JICA Mexico Office(メキシコ事務所)
JICA Oficina en México
Ejército Nacional No. 418-201, Col. Chapultepec Morales,
MEXICO, D.F., C.P. 11570
(52-55)5545-2476

JICA Panama Office(パナマ事務所)
JICA Oficina en Panamá
Edificio World Trade Center Panamá, Piso 4, Calle 53 E,
Urbanización Marbella, Ciudad de Panamá, REPUBLICA DE
PANAMA
(Apartado 0832-00900, World Trade Center Panamá, Panamá,
REPUBLICA DE PANAMA)
(507)264-9669

JICA Paraguay Office(パラグアイ事務所)
Avenida Mariscal Lopez 3794 Esquina Cruz del Chaco,
Edificio Citibank Center Piso 5, Asunción-Paraguay
(Avenida Mariscal Lopez 3794 Esquina Cruz del Chaco,
Edificio Citibank Center Piso 5, Asunción-Paraguay,
Casilla de Correo 1121)
(595-21) 608400

JICA Peru Office(ペルー事務所)
JICA Oficina en el Peru
Av. Angamos Oeste 1381, Santa Cruz, Miraflores, Lima, PERU
(Apartado Postal 18-0261, Lima18, PERU)
(51-1)221-2433

中東地域

JICA Afghanistan Office(アフガニスタン事務所)
No.49 Wazir Akbar Khan Main St.,
in front of Wazir Akbar Khan Mosque, Kabul, AFGHANISTAN
(CPO Box 461 Kabul, AFGHANISTAN)
+873-763-424422(インマルサット)

JICA Egypt Office(エジプト事務所)
World Trade Center 10th Floor,
1191 Corniche El Nile St., Boulak., Cairo, EGYPT
(P.O. Box 475, Dokki, EGYPT)
(20-2)5748240

JICA Jordan Office(ヨルダン事務所)
Fountain Plaza, Abdel Rahim Haj-Mohammad St., Sweifich,
Amman, JORDAN
(P.O.Box 926355, Amman 11190, JORDAN)
(962-6)5858921

JICA Morocco Office(モロッコ事務所)
JICA Bureau au Maroc
6, Rue Rif, Route des Zaërs, Souissi, Rabat, MAROC
(212-37)638708

JICA Saudi Arabia Office(サウジアラビア事務所)
Economic Section, Annex of Japanese Embassy Block No.55,
Amer Ibn Aws St., Al-Raed District, Riyadh, SAUDI ARABIA
(P.O.Box 90552, Riyadh 11623, SAUDI ARABIA)
(966-1)488-2212

JICA Syria Office(シリア事務所)
No.28 Al Mahdi Bin Baraka St.,
Abou Roumaneh, Damascus, SYRIA
(P.O.Box 10012, Damascus, SYRIA)
(963-11)3339359

JICA Tunisia Office(チュニジア事務所)
16, Rue Jafer El Barmaki, Mutuelleville 1002 Tunis, TUNISIE
(B.P. 764, 1080 Cedex, Tunis, TUNISIE)
(216-71)786386

JICA Turkey Office(トルコ事務所)
Ugur Mumcu Cad, 88/6 B Block, Gaziosmanpasa,
06700 Ankara, TURKEY
(P.K.117, Kavaklidere 06692, Ankara, TURKEY)
(90-312)447-2530

JICA Office in Gaza(パレスチナ事務所)
No.102 Riyad Tower, 136/57 Damascus St. Al-Remal, Gaza
(ガザ事務所への郵便物・機材等の送付は不可。送付はテル
アビブへ)
Mr.Takeshi NARUSE, JICA Office in Tel-Aviv
c/o Embassy of Japan, Mail Box 38, Asia House 4th Floor, 4
Weizman St., Tel-Aviv 64239, ISRAEL
(972-3)6958291(テルアビブ)

アフリカ地域
**Burkina Faso Office
(ブルキナファソ事務所)**
Cité SOCOGIB (HLM), Petit Paris (Scteur 8) Entre l'Avenue du
Mogho et la Rue Gandin Derrière le Service du Contrôle de la
Migration, Ouagadougou, BURKINA FASO
(01 B.P. 1484 Ouagadougou 01, BURKINA FASO)
(226-50)346521

JICA Ethiopia Office(エチオピア事務所)
Woreda 18, Kebele 36, House No.676/05, Addis Ababa,
ETHIOPIA (MINA Building, 6 - 7F)
(P.O.Box 5384, Addis Ababa, ETHIOPIA)
(251-11)504755

JICA Ghana Office(ガーナ事務所)
4th Floor, Millennium Heights Building,
14 Liberation Link, Airport Commercial Area, Accra, GHANA
(P.O.Box A.N. 6402, Accra-North, GHANA)
(233-21)760781

JICA Kenya Office(ケニア事務所)
The Rahimtulla Trust Tower 10th and 11th Floor,
Upper Hill Road, Nairobi, KENYA
(P.O.Box No.50572-00200, Nairobi, KENYA)
(254-20)2724121

JICA Madagascar Office(マダガスカル事務所)
Près Lot II Y 53 bis, Rue Dr. Césaire Rabenoro,
Andrianarivo, Antananarivo 101, MADAGASCAR
(BP 60120, Antananarivo 101, MADAGASCAR)
(261-20)2259410

JICA Malawi Office(マラウイ事務所)
Pacific House, Area13, Plot No.100,
City Centre, Lilongwe 3, MALAWI
(P.O.Box 30321, Capital City, Lilongwe 3, MALAWI)
(265-1)771644

JICA Mozambique Office(モザンビーク事務所)
Av. 24 de Julho No. 7, 5° andar, Escritório A,
B e F, Maputo, MOZAMBIQUE
(P.O. Box 2650, Maputo, MOZAMBIQUE)
(258-21)486357

JICA Niger Office(ニジェール事務所)
JICA Bureau au Niger
No.521, Rue des Lacs, PL521, Quartier Plateau,
Commune 1, Niamey, NIGER
(B.P.10036, Niamey, NIGER)
(227-20)73-55-69

JICA Nigeria Office(ナイジェリア事務所)
2nd Floor AP Plaza, Adetokunbo Ademola Crescent,
Wuse II, Abuja, NIGERIA
(P.M.B. 5090 Wuse, Abuja, NIGERIA)
(234-9)523-2869

JICA Senegal Office(セネガル事務所)
JICA Bureau au Sénégal
Immeuble ABM - 5ème Etage, 20, Av. Léopold Sédar Senghor,
Dakar, SENEGAL
(B.P.3323, Dakar, SENEGAL)
(221) 8216919

JICA South Africa Office (南アフリカ共和国事務所)
1st Floor Bank Forum Building,
Fehrsen & Veale St., New Muckleneuk,
Pretoria, Republic of SOUTH AFRICA
(P.O.Box 14068 Hatfield 0028, Pretoria, Republic of SOUTH AFRICA)
(27-12)346-4493

JICA Tanzania Office(タンザニア事務所)
3rd Floor, Barclay's House 1008/1 Ohio St.,
Dar es Salaam, TANZANIA
(P.O.Box 9450, Dar es Salaam, TANZANIA)
(255-22)2113727

JICA Uganda Office(ウガンダ事務所)
East African Development Bank Building, 5th Floor, Plot No.4,
Nile Av., Kampala, UGANDA
(P.O.Box.12162, Kampala, UGANDA)
(256-41)254326

JICA Zambia Office(ザンビア事務所)
Plot No.11743A Brentwood Lane, Longacres, Lusaka, ZAMBIA
(P.O.Box 30027, Lusaka 10101, ZAMBIA)
(260-1)254501

JICA Zimbabwe Office(ジンバブエ事務所)
8th Floor, Intermarket Life Towers,
77 Jason Moyo Av., Harare, the Republic of ZIMBABWE
(P.O.Box 4060, Harare, the Republic of ZIMBABWE)
(263-4) 252500

ヨーロッパ地域

JICA Austria Office(オーストリア事務所)
Dr. Karl Lueger-Ring 10, 5th Floor, A-1010 Wien, AUSTRIA
(Dr. Karl Lueger-Ring 10, A-1010 Wien, AUSTRIA)
(43-1)3156565

JICA France Office(フランス事務所)
JICA Bureau en France
8, Rue Sainte-Anne, 75001 Paris, FRANCE
(33-1)40200421

JICA U.K. Office(英国事務所)
72 Hammer Smith Road, London W14 8TH, U.K.
(44-20) 7533-6560

北米地域
JICA U.S.A. Office(アメリカ合衆国事務所)
1776 I St., N.W. Suite No.895, Washington, D.C. 20006, U.S.A.
(1-202)293-2334

駐在員事務所

アジア地域
JICA Bhutan Office(ブータン駐在員事務所)
Doybum Lam / Memorial Chorten, Thimphu, BHUTAN
(P.O.Box 217, Thimphu, BHUTAN)
(975-2)322030

JICA Singapore Office(シンガポール駐在員事務所)
Room 801, RELC Building 30 Orange Grove Road,
SINGAPORE, 258352
(65)67340706

大洋州地域
JICA Micronesia Office(ミクロネシア駐在員事務所)
3rd Floor Martin's Building Kaselelieh St.,
Kolonia, Pohnpei 96941, The Federated States of
MICRONESIA
(P.O.Box G, Kolonia, Pohnpei 96941, The Federated States of
MICRONESIA)
(691)320-5350

JICA Palau Office(パラオ駐在員事務所)
George Ngirarsaol Commercial Building, Koror, PALAU 96940
(P.O.Box 6047 Koror, PALAU 96940)
(680)488-5373

JICA Solomon Islands Office(ソロモン駐在員事務所)
1st Floor, Solomon Islands Mutual Center Building,
Town Ground, Mendana Av., Honiara, SOLOMON ISLANDS
(P.O.Box 793, Honiara, SOLOMON ISLANDS)
(677)24170

JICA Tonga Office(トンガ駐在員事務所)
Level 3, National Reserve Bank of Tonga Building,
Salote Road, Fasi-moe-Afi, Nuku'alofa, Kingdom of TONGA
(P.O.Box 413, Nuku'alofa, Kingdom of TONGA)
(676)23072

JICA Vanuatu Office(バヌアツ駐在員事務所)
Pierre Lamy St., Port Vila, VANUATU
(P.M.B. 9005, Port Vila, VANUATU)
(678)23546

中南米地域
JICA Costa Rica Office(コスタリカ駐在員事務所)
Avenida 1 era y calle 39, Barrio Dent, San Pedro, Edificio
Delfos 3er Piso (100mts' Norte de la Agencia Subaru), San Jose,
COSTA RICA A.C.
(Apartado Postal No.666-2010, Zapote, San José, COSTA RICA
A.C.)
(506)225-3114

JICA Guatemala Office(グアテマラ駐在員事務所)
Oficina de Voluntarios Japoneses
18 Calle, 5-56 Zona 10 Guatemala Edificio Unicentro 12 Nivel
Oficina 1203, GUATEMALA
(Oficina de Voluntarios Japoneses, Apartado Postal No. 269-A,
Guatemala, GUATEMALA)
(502) 23661919

JICA/JOCV Jamaica Office(ジャマイカ駐在員事務所)
8th Floor, Island Life Centre 6, St. Lucia Av. Kingston 5,
JAMAICA(W.I.)
(P.O.Box 8202, C.S.O., Kingston, JAMAICA(W.I.))
(1-876)9294069

JICA Nicaragua Office(ニカラガ駐在員事務所)
Ofi plaza El Retiro, Edificio, No. 6, Piso 3, Suite 631, Managua,
NICARAGUA
(Ofi plaza El Retiro, Edificio, No. 6, Piso 3, Suite 631, P.O.Box
509, Managua, NICARAGUA)
(505)2707229

中東地域

JICA Iran Office(イラン駐在員事務所)
4th Floor, No.6, 15th Alley, Ghandi St., Tehran, IRAN
(P.O.Box 15175/655, Tehran 1517886614, IRAN)
(98-21)8864-8050

アフリカ地域

JICA/JOCV Botswana Office(ボツワナ駐在員事務所)
1st Floor, Plots 896/897 Kaunda Road, Gaborone, BOTSWANA
(Private Bag 00369, Gaborone, BOTSWANA)
(267)3912176

JICA CAMEROON OFFICE(カメルーン駐在員事務所)
923, Rue 1828, Bastos-Ekoudou, Younde, Cameroun
(B.P. 13538, Younde)
(237) 201-3162

JICA Cote d' Ivoire Office(コートジボワール駐在員事務所)
No. 73 du Batiment H2 Sis au 7eme etage de l'immeuble les
Harmonies, Bd Roume au Plateau, Abidjan, Cote d'Ivoire
(225)20-22-22-90
(郵便物の送付はブルキナファソ事務所へ)
(c/o Burkina Faso Office, 01 BP 1484 Ouagadougou 01,
BURKINA FASO)

JICA Rwanda Office(ルワンダ駐在員事務所)
No.1117, Rue de l'Umuganda Kacyiru, Kigali, RWANDA
(B.P.6878, Kacyiru, Kigali, RWANDA)
(250)582589

ヨーロッパ地域

JICA Bulgaria Office(ブルガリア駐在員事務所)
Interpred - WTC Sofia Bldg. Block A,
9th Floor, Office 901, 36 Dragan Tsankov Blvd. Sofia 1057,
BULGARIA
(359-2)971-2170

JICA/JOCV Hungary Office(ハンガリー駐在員事務所)
(航空貨物・国際宅配便等で送付する場合の宛先は「JOCV
Hungary Office」を使用)
1075 Budapest, Karoly Korut 11 7A, HUNGARY
(36-1)269-7884

JICA/JOCV Poland Office(ポーランド駐在員事務所)
Al. Jana Pawla II 18, 1st Floor 00-116, Warszawa, POLAND
(48-22)6270164

JICA/JOCV Romania Office(ルーマニア駐在員事務所)
Aleea Alexandru 9A, 3rd Floor, Sector1, Bucharest, ROMANIA
(P.O.Box 67-3, Bucharest, ROMANIA)
(40-21)231-6723

ボランティア調整員事務所

アジア地域
JOCV Maldives Office
(モルディブ・ボランティア調整員事務所)
1st Floor, Radiunge-Aage, Neeloafaru Magu Galolhu, Male,
20130, Republic of MALDIVES
(P.O.Box 2007, Male, Republic of MALDIVES)
(960)3322049

大洋州

JOCV Marshall Islands Office
(マーシャル・ボランティア調整員事務所)
1st Floor P.I.I Complex, Delap Village Majuro Atoll,
MH96960, Republic of The MARSHALL ISLANDS
(P.O.Box F Majuro, MH96960, Republic of The MARSHALL
ISLANDS)
(692)625-5437

中南米

JOCV Belize Office
(ベリーズ・ボランティア調整員事務所)
APT.301 Belize Marina Towers, Newtown Barracks, Belize
City, BELIZE, C.A.
(P.O. Box 224, BELIZE, C.A.)
(501)223-4404

JOCV Dominica Office
(ドミニカ・ボランティア調整員事務所)
The Globe, 106 Independence St., Roseau,
COMMONWEALTH OF DOMINICA, W.I.
(P.O.Box 163, Roseau, COMMONWEALTH OF DOMINICA, W.I.)
(1-767)440-3184

JOCV Ecuador Office
(エクアドル・ボランティア調整員事務所)
Av. Amazonas N34-289 entre Atahualpa y Nuñez de Vela,
Edificio el Dorado, Piso 8, Quito, ECUADOR
(P.O.Box 17-21-01466, Quito, ECUADOR)
(593-2)2248470

JOCV Saint Lucia Office
(セントルシア・ボランティア調整員事務所)
23 Brazil St., 2nd Floor of Kaycees Building, Castries, SAINT
LUCIA, W.I.
(P.O.Box 1042, Castries, SAINT LUCIA, W.I.)
(1-758)453-6032

JOCV Saint Vincent and the Grenadines Office
(セントビンセント・ボランティア調整員事務所)
Villa Point Indian Bay, Saint Vincent and the Grenadines, West
Indies
(P.O.Box 2355 Kingstown General Post Office, SAINT
VINCENT AND THE GRENADINES)
(1-784)457-5184

JOCV Uruguay Coordinator Office
(ウルグアイ・ボランティア調整員事務所)
Oficina de Voluntarios Senior de JICA en Uruguay
Bulevar General Artigas 417, Of.601, Montevideo, URUGUAY
(Casilla de Correo 330, Montevideo, URUGUAY)
(598-2)712-2723

JOCV Venezuela Office
(ベネズエラ・ボランティア調整員事務所)
JOCV de Venezuela Edifi. Centro Letonia, Piso 10,
Oficina 101, Av. Principal de La Castellana,
La Castellana, Caracas, VENEZUELA
(Apartado Postal No. 61596, Zona Postal 1060, Caracas,
VENEZUELA)
(58-212)267-9280

中東地域

JOCV Yemen Office(イエメン・ボランティア調整員事務所)
House No.10, St.No.27, Off Amman St., Sana'a, the Republic
of YEMEN
(P.O.Box 15087, Sana'a, the Republic of YEMEN)
(967-1)448117

アフリカ地域

JOCV Benin Office(ベナン・ボランティア調整員事務所)
Djomehountin Haie-vive ILOT 628-G, Cotonou, R.P. BENIN
(01 B.P.7097 Cotonou, R.P. BENIN)
(229)309907

JOCV Djibouti Office
(ジブチ・ボランティア調整員事務所)
Rue de Kampala, I lot de Heron, B.P.2627, Djibouti, Republique
de DJIBOUTI
(B.P.2627, Djibouti, Republique de DJIBOUTI)
(253)250251

JOCV Gabon Office(ガボン・ボランティア調整員事務所)
Quartier LOUIS, Blvd. Joseph, 4ème Rue, Libreville, GABON
(B.P.456 Libreville, GABON)
(241)44-33-45

JOCV Namibia Office(ナミビア・ボランティア調整員事務所)
17 LiLiencron St., Eros Windhoek, NAMIBIA
(Private Bag 12047, Ausspannplatz, Windhoek, NAMIBIA)
(264) 61-301236

支所

São Paulo Branch Office(ブラジル・サンパウロ支所)
(Escritorio Anexo do Consulado Geral do Japao em São Paulo)
Av. Paulista 37-1º Andar, Conj II Parasiso, São Paulo-S.P.
BRASIL, CEP. 01311-902
(55-11) 3251-2655

地域支援事務所

JICA Regional Support Office for Asia
(アジア地域支援事務所)
住所、連絡先はタイ事務所と同じ

JICA Regional Support Office for Oceania
(大洋州地域支援事務所)
住所、連絡先はフィジー事務所と同じ

JICA Regional Support Office for Central America and
the Caribbean (中米・カリブ地域支援事務所)
住所、連絡先はメキシコ事務所と同じ

JICA Regional Support Office for Eastern and
Southern Africa (東南部アフリカ地域支援事務所)
The Rahimtulla Trust Tower 17th Floor, Upper Hill Road,
Nairobi, KENYA
(郵便物宛先はケニア事務所と同じ)
(254-20)2724152

JICA Regional Support Office for West and Central
Africa (中西部アフリカ地域支援事務所)
住所、連絡先はセネガル事務所と同じ

JICA Regional Support Office for Africa
(アフリカ地域支援 経理・調達 事務所)
住所、連絡先は南アフリカ共和国事務所と同じ

国内機関の概要

国際センター、青年海外協力隊訓練所など、国内機関の概要は、下記のとおりです。

名称	所在地	開設年	宿泊可能人数	宿泊対象者	所管地域
国際協力総合研修所	〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5 TEL:03-3269-2911(代)	1983年	70	研修員	
広尾センター(JICA地球ひろば)	〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-24 TEL:03-3400-7717(代)	1968年	46	青年海外協力隊等	東京都、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、山梨県* ¹
札幌国際センター	〒003-0026 北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25 TEL:011-866-8333(代)	1995年	97	研修員	北海道(道南、道北)
帯広国際センター	〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1-2 TEL:0155-35-1210(代)	1995年	48	研修員	北海道(道東)
筑波国際センター	〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-6 TEL:029-838-1111(代)	1996年 (注)	195	研修員	茨城県
東京国際センター	〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-5 TEL:03-3485-7051(代)	1985年	446	研修員	東京都、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、山梨県* ²
横浜国際センター	〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2-3-1 TEL:045-663-3251(代)	2002年	108	研修員、日系社会 シニア・ボランティア、 日系研修員	神奈川県
中部国際センター	〒465-0094 愛知県名古屋市名東区亀の井2-73 TEL:052-702-1391(代)	1971年	86	研修員	静岡県、愛知県、岐阜県、三重県
大阪国際センター	〒567-0058 大阪府茨木市西豊川町25-1 TEL:072-641-6900(代)	1994年	290	研修員	滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、和歌山県
兵庫国際センター	〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 TEL:078-261-0341(代)	2002年	96	研修員	兵庫県
中国国際センター	〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-3-1 TEL:082-421-6300(代)	1997年	48	研修員	岡山県、広島県、島根県、鳥取県、山口県
九州国際センター	〒805-8505 福岡県北九州市八幡東区平野2-2-1 TEL:093-671-6311(代)	1989年	145	研修員	九州全県
沖縄国際センター	〒901-2552 沖縄県浦添市字前田1143-1 TEL:098-876-6000(代)	1985年	128	研修員	沖縄県
二本松青年海外協力隊訓練所	〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2 TEL:0243-24-3200(代)	1994年	204	青年海外協力隊、 研修員	福島県
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所	〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15 TEL:0265-82-6151(代)	1979年	238	青年海外協力隊	長野県
東北支部	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル15F TEL:022-223-5151(代)				青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県
北陸支部	〒920-0853 石川県金沢市本町1-5-2 リファール(オフィス棟)4F TEL:076-233-5931(代)				富山県、福井県、石川県
四国支部	〒760-0050 香川県高松市亀井町5-1 百十四ビル13F TEL:087-833-0901(代)				四国全県

(注) 筑波国際センターの開設年は、機構改編を行った年です。

* 1. 広尾センターは市民参加協力事業他を所掌。

* 2. 東京国際センターは研修事業に限る。

2005年度 国際協力の動き

世界の出来事	日本の出来事	JICAの動き
2005年		
<p>4月 中華人民共和国各地で反日デモ拡大 インドネシア、バンドンでアジア・アフリカ 会議開催(22・23日)</p> <p>6月 イラン、アフマディネジャード大統領当選 (24日)</p> <p>7月 グレンイーグルズ・サミット開催(6～8日) ロンドン同時多発テロ(7日)</p> <p>8月 ロシアで鳥インフルエンザの感染拡大 NASAが火星無人探査機を打ち上げ(12日) ハリケーン・カトリーナ、米国南東部に上 陸、多大な被害</p> <p>9月 第60回国連総会、途上国支援「言葉から行動へ」 ドイツ総選挙、キリスト教民主同盟メルケル 党首が首相に就任(18日)</p> <p>10月 バリ島で爆破テロ(4日) フジモリ元大統領、チリで拘束(7日) パキスタン北部で大地震発生(8日) ハリケーン・ウィルマ、ユカタン半島とフ ロリダ半島に上陸 フセイン元大統領の初公判(19日) カナダで鳥インフルエンザ国際会議開催 (24・25日) イラク新憲法成立(25日)</p> <p>12月 スマトラ沖大地震・インド洋津波復旧復興支 援1周年式典(16日)</p>	<p>4月 ライブドアとフジテレビの資本・業務提携発 表(18日) JR福知山線脱線事故(25日) 小泉総理大臣、アジア・アフリカ会議で対ア フリカODAを今後3年間で倍増することを 表明</p> <p>6月 茨城で鳥インフルエンザ発生(26日)</p> <p>7月 アスベスト被害が次々と発覚 小泉総理大臣、グレンイーグルズ・サミット で今後5年間にODA事業量を100億ドル積 み増しすることを表明 スペースシャトル・ディスカバリー打ち上 げ、野口聡一さんが船外活動(26日)</p> <p>8月 郵政民営化法案否決、衆議院解散(8日)</p> <p>9月 台風14号で大きな被害(6日) 総選挙、自民党大勝(11日) 愛・地球博閉幕(愛知)(25日)</p> <p>10月 郵政民営化法案可決成立(14日)</p> <p>11月 耐震構造偽装問題発覚</p>	<p>4月 スマトラ沖大地震・インド洋津波に国際緊急 援助隊2次隊派遣(7日・9日) 北海道大学と連携協力協定締結(12日)</p> <p>5月 緒方理事長、アッバース・パレスチナ自治政 府大統領と会談(16日) 緒方理事長、中東歴訪(16～26日) スーダン「国際協力セミナー」をJICA東京で 開催(5月30日～6月10日)</p> <p>7月 緒方理事長、津波被災地バンダアアチェを視察 (7～13日) ガザ支援およびジェリコ地域開発計画調査承 認、ファスト・トラック制度適用第1号(25日)</p> <p>9月 インドネシアの鳥インフルエンザ対策のため 国際緊急援助隊を派遣(27日)</p> <p>10月 第2回JICA理事長表彰(3日) パキスタン北部大地震に国際緊急援助隊派遣 救助チーム派遣(9日) 医療チーム派遣(10日) 医療チーム2次隊派遣(20日) 緒方理事長、ウォルフォウィッツ世界銀行 総裁と会談(12日) シエラレオネ「平和と復興のための国際協 力セミナー」をJICA中国、本部で開催(17 日～11月1日) 青年海外協力隊と米国平和部隊との連携覚 書締結(25日) 青年海外協力隊40周年記念式典(29日)</p> <p>12月 広島大学と連携協力協定締結(14日)</p>
2006年		
<p>1月 イスラエル、シャロン首相が脳卒中で緊急 手術、容態深刻(4日) リベリア、サーリーフ大統領就任、アフリ カ初の民選による女性大統領(25日) パレスチナ評議選、ハマス躍進(25日)</p> <p>2月 欧州各紙がムハンマド戯画掲載、イスラム教 徒の反発 トリノ五輪(10～26日) フィリピン、レイテ島で大規模地滑り災害発生 (17日) フィリピン、アロヨ大統領が全土に非常事態 を宣言(～3月3日)</p> <p>3月 メキシコで第4回世界水フォーラム開催(15 ～24日) イスラエル総選挙、中道ガディマが勝利 (28日) パレスチナ、ハマス単独政権が発足(29日)</p>	<p>1月 ライブドア堀江社長ら証券取引法違反で逮 捕(23日)</p> <p>2月 トリノ五輪、フィギュアスケート荒川選手が 金メダルを獲得(23日)</p> <p>3月 第1回ワールド・ベースボール・クラシック で日本が優勝(20日) 行政改革推進法案国会提出、政府系金融機関 改革(10日)</p>	<p>2月 フィリピン、レイテ島大規模地滑り災害に緊 急援助物資供与</p> <p>3月 緒方理事長、中華人民共和国訪問 (12～24日)</p>

開発援助・JICA関連用語

アカウンタビリティ (accountability)

説明責任。開発援助、国際協力の活動・事業については、これを円滑に運営し、内容、財務、決定理由などについて、国民および相手国の人々に、必要十分で正確な説明を行う責任があること。

アフターケア (Aftercare Cooperation)

プロジェクト終了後に行う機材の供与や専門家の派遣などの追加的な協力、研修員や招へい青年の同窓会の設立や運営の支援、帰国研修員への文献送付など。

インフラ、インフラストラクチャー (infrastructure)

経済活動を支える各種の基盤。社会資本。通常、エネルギー、道路、港湾、河川、通信、農業基盤、鉄道・空港などの経済インフラと、公衆衛生、教育、住宅、上下水道などの社会インフラに区分される。

援助協調 (aid coordination)

援助資金を有効に利用するために、複数の援助国が開発途上国政府と開発戦略を共有し、援助国同士が援助手法を調和させて協力にあたること。

エンパワーメント (empowerment)

個人が自覚し、自己決定能力、経済的・社会的・法的・政治的な力をつけ、能力を発揮していくこと。自己決定権をもつようになり、連帯して社会的不平等などを克服していくことにつながる。

オーナーシップ (ownership)

開発途上国の自助努力。DACの新開発戦略では、基本理念として、開発途上国の自助努力(オーナーシップ)と、支援する先進国との連帯(パートナーシップ)を中心にすえている。

カウンターパート (Counterpart)

技術協力のために開発途上国に派遣されたJICA専門家や青年海外協力隊員などと活動をともにし、技術移転を受ける相手国側の技術者などをいう。

企画調査員 (Project Formulation Advisor)

JICAが開発途上国に派遣する調査員。その国の実情に即した効果的な協力事業の形成のために、資料や情報を収集したり、関係者との意見交換などを行う。

技術移転 (transfer of technology)

技術をもつ組織や個人が、教育・訓練などを通じて別の組織や個人に技術を伝達し、定着・普及を進めること。国際協力では開発途上国の発展に必要な生産技術や経営技術を、先進国、先進企業から移転すること。

基本設計調査 (Basic Design Study : B/D)

日本が実施する無償資金協力は、一般的に、JICAが行う基本設計調査に基づき、日本政府が援助の可否や内容などを決定する。基本設計、建設コスト、工程、代替案、経済的・技術的妥当性、財政面、運営体制などを調査し、プロジェクトの実施可能性と実施の最適案を作成する。

キャパシティ・ディベロップメント (capacity development)

開発課題に対処するための能力を途上国自身が強化していくこと。キャパシティ・ビルディングが外からの能力構築を指すのに対し、キャパシティ・ディベロップメントは途上国自身の内発的な能力の構築、強化、維持といったプロセスそのものを指す。

キャパシティ・ビルディング (capacity-building)

組織・制度づくり (institution-building) に対して、それを実施・運営していく能力を向上させること。実施主体の自立能力の構築をいう。

草の根・人間の安全保障無償資金協力

(Grant Aid for Grassroots Human Security)

開発途上国の地方公共団体やNGO などからの要請により、一般の無償資金協力では対応がむずかしい小規模案件を支援することを目的に、日本の在外公館を通じて行われる無償資金協力。

グッド・ガバナンス (good governance)

良い統治。政治や行政において、効率性、効果、透明性、法の支配、市民社会との会話、過度な軍事支出の削減などを確保すること。日本のODAでは、環境と開発との両立、基礎生活分野 (BHN) への援助なども含む。

グラント・エレメント (grant element)

資金協力における援助条件の緩和度を示す指標。貸付条件(金利、返済期間、据置期間)が緩やかなほど数字が高くなる。贈与は100%。

現地国内研修 (第二国研修) (Local In-country Training)

JICAが行う研修の1つで、開発途上国でさらなる技術の移転・普及を行うため、日本の技術協力を通じて養成された人材が中心となって、その国の関係者を対象として実施する研修。

国際開発協会 (International Development Association : IDA)

第二世銀。世界銀行、IFC(国際金融公社)が準商業ベースの融資機関であることから、開発途上国に緩和した条件で援助を供与できる機関設立の声が高まり、1960年に設立された。加盟は世界銀行の加盟国に限られ、2005年6月現在、165カ国。

国際協力銀行 (Japan Bank for International Cooperation : JBIC)

1999年10月に日本輸出入銀行と海外経済協力基金(OECF)が統合して設立された特殊法人。輸出金融、投資金融などの国際金融業務と、開発途上国に対する円借款などの経済協力業務を行う。

国際協力専門員 (Senior Advisor)

JICAに所属し技術協力を専念する専門家。海外では上級顧問、プロジェクトリーダー、一般専門家などとして活動し、国内では各種の調査研究や助言、専門家養成研修の講師、海外からの研修員の指導などを行う。

サブサハラ・アフリカ (Sub-Saharan Africa)

アフリカ諸国のうち、サハラ砂漠以南の国々。アフリカ大陸53カ国中47カ国が属する。

参加型開発 (participatory development)

開発援助の戦略として1980年代末から注目されている概念。開発援助の実効性や持続性を高めるためには、開発の受益者となる地域住民が開発の意志決定プロセスに参加することが重要で、その結果、より公平に恩恵を受けることができるという考え方。

ジェンダー (gender)

生物学的性差を指すセックスに対し、社会的な側面から見た性差をいう。

ジェンダー主流化 (gender mainstreaming)

ジェンダーの視点を開発の過程に組み入れることで、ジェンダー平等の視点をすべての政策・事業に組み込むこと、すべての開発課題において男性、女性の両方が意思決定過程に参加できるようにすることの2つの側面がある。

持続可能な開発、持続的開発 (sustainable development)

現在の世代は、将来の世代のために環境を保全するとともに、資源を長もちさせるように利用する必要があるという開発の考え方。

重債務貧困国 (Heavily Indebted Poor Countries : HIPC)

1996年にIMF(国際通貨基金)と世界銀行に認定された最も貧しく重い債務を負う国。1993年時点で1人あたりGNPが695ドル以下、債務合計額が輸出金額の2.2倍以上またはGNPの80%以上という基準で、42カ国が認定されている。

食糧援助 (Food Aid)

KR。無償資金協力の形態の1つ。日本は1986年の食糧援助規約に基づき、小麦換算方法により実施している。年間最小拠出量30万トンが義務づけられ、開発途上国が小麦換算で30万トンに相当する穀物(米、小麦、メイズなど)を購入できる資金を供与している。

政策・制度支援 (Policy and Institutional Support)

市場経済への体制移行国が、民主化や市場経済化を円滑に進められるように行う、経済や各種制度の創設・運用のノウハウや

人材育成などの各種支援。日本の法制度、行政制度、議会制度などの現状や歴史・経験を紹介する「民主化セミナー」の開催、市場経済管理、行政管理などの研修員受入、政策的助言をする専門家の派遣などを行う。

生物多様性(条約)([Convention on] Biological Diversity) 地球規模で加速する生物の種の絶滅を防ぐため、生物の多様性を保全し、その持続的な利用の実現を目的として採択された条約。生物の多様性を生息地、種、遺伝子の3つのレベルでとらえ、これらを包括的に保全することを提唱している。

セクタープログラム(Sector Program) 各ドナーが個々に行っていた援助を、特定分野(セクター)ごとにまとめて、途上国とドナー間で調整し、セクター全体を視野に入れて効率的に援助を行う方式。

卒業(graduate) 経済発展の結果、開発途上国が自力で経済開発を推進できる水準に達した状況。1人あたりGDPが8625ドル以上、などの条件がある。

第三国研修(Third-country Training) JICAの行う研修の1つで、日本が開発途上国に移転した技術を、その国を通じて周辺国などに移転・普及させるための研修。日本を第一国とし、技術移転された国は第二国、周辺国など研修を受ける国は第三国となる。

第三国専門家(Third-country Expert) JICAの専門家派遣の1つで、南南協力支援の一環として、協力対象の開発途上国に他の開発途上国の人材を、技術協力専門家として派遣するもの。両国の環境、技術水準、文化・言語などの同一性や類似性により、技術移転がより適切に、効率的に行える。

多国間援助(multilateral aid) ODAのうち、世界銀行や国際機関への資金拠出を通じ、開発途上国の開発に協力する援助をいう。各国際機関のもつ高度な専門知識、豊富な経験、世界的援助ネットワークの利用や、政治的中立性の確保が可能。このため、二国間援助では行いにくい難民援助、地球環境問題などへの協力が可能であり、援助対象地域、援助方法に関する情報・知識が不足している場合にも、効果的な援助ができる。

地球(的)規模の課題(global issues) 環境、人口、エイズ、麻薬など、影響が地球規模に及ぶものや、解決には国際的な協力が不可欠な課題をいう。

デジタル・デバイド(digital divide) 情報をもつ者ともたない者の情報格差。富裕層が、コンピューターや通信機器などで情報を得て経済力が増すことにより、貧困層との経済格差がさらに広がること。

投入(input) インプット。途上国開発のために使われる資金、人材、技術、資材・機器など。

ドナー(donor) 援助を供与する国または機関のこと。援助を受け入れる途上国側を指すレシピアント(recipient)に対応する語。

南南協力(South-South Cooperation) 開発途上国間で、地域経済協力などを通じて相互の経済発展を進めること。従来、開発途上国の発展には、先進国からの援助に依存せざるをえないとの考えが主流だったが、開発途上国の多様化が進み、開発途上国間の協力の重要性が認識されるようになった。特に、先進国の最新の資本・知識集約的技術は、開発途上国の実情やニーズに適合しないこともあり、1970年代後半以降、国連貿易開発会議UNCTADの場などを通じ、南南協力の推進がはかられている。

二国間援助、二国間協力(bilateral aid) ODAのうち、先進国と開発途上国の二国間で実施される援助。機動的できめ細かな援助の実施が可能、援助国の援助政策・実績を相手国に直接印象づけられ、相手国との友好親善関係増進に寄与する点大きい、などの利点がある。

日本センター(Japan Center) カザフスタンなどのCIS諸国やインドシナの旧社会主義国で、

市場経済化の改革努力を支援するために設けた拠点。専門家に派遣などの協力を行い、人材育成のための各種の研修の実施や、日本語教育、日本文化の紹介などを実施している。

人間開発指数(Human Development Indicator: HDI) 各国の開発状況を、長寿、知識、人間らしい生活水準(人間開発の3分野)の達成度で表す指数。1人あたりのGDP、出生時平均余命、就学率などを基本要素として指数化したもので、国連開発計画(UNDP)が提唱している。

人間中心の開発(human-centered development) 経済協力の視点を、個々の人間の生活、福祉、幸福に置く考え方。1980年代後半から「人間開発」の重要性が主張され、1995年の国連社会開発サミットで、より効果的に人間のニーズを満たす経済の方向づけを行うことが宣言されて「人間中心の開発」をめぐすべきという考えが鮮明になった。

人間の安全保障(human security) 1994年、UNDP(国連開発計画)の『人間開発報告書』で取り上げられた概念。飢餓や病気などの脅威から解放され、民族や主義などの違いで抑圧されることのない、個々の人間に対する安全保障。UNDPでは、食糧、健康、環境、個人、地域社会、政治、経済の7つの概念に分けている。

ネリカ米(NERICA Rice) アフリカ米とアジア米の交雑種で、両方の長所をあわせもち、環境の厳しいアフリカの食糧安全保障に貢献すると期待される。New Rice for Africaの略。

ノン・プロジェクト無償資金協力(Non-project Grant Aid for Structural Adjustment Support) 無償資金協力の1つ。経済改革計画や特定分野の開発計画全体を支援する。施設建設や災害救援活動などの事業(プロジェクト)実施を目的とした資金ではないため、この名称で呼ばれる。

パートナーシップ・プログラム(Partnership Program) かつて援助を受けていた開発途上国が、経済開発の成功などにより援助する側へ移行し、日本と対等の立場で協力して、他の開発途上国を援助する事業。

パッケージ協力(Package Cooperation) 援助の重点分野が絞り込まれた開発目標に対し、研修員受入、専門家派遣、青年海外協力隊派遣などの技術協力と無償資金協力を組み合わせて、総合的なアプローチを行う協力方式。

貧困(poverty) 貧困の定義は国、援助機関によってさまざまであるが、代表的な定義には、1人あたり年間所得が生活に必要な最低限度以下とするもの(世界銀行)と、所得以外の生活の質・社会的側面から定義するもの(国連開発計画: UNDP)がある。定義された貧困の範疇に属する人の数を「貧困人口」という。

貧困削減戦略書(PRSP) PRSP **貧困農民支援**(Grant Assistance for Underprivileged Farmers)

2KR。無償資金協力の形態の1つ。自給達成に努力する開発途上国の食糧増産計画を対象に、肥料、農薬、農業機械などの農業物資を供与するもの(2004年度までの名称は「食糧増産援助」)。

フィージビリティ調査(feasibility study: F/S) 開発調査や政策によって優先度を与えられたプロジェクトが実行可能か否かを客観的に検証し、実施に最適な事業計画を策定するための調査。

フィールドオフィス(Field Office) 平和構築や復興支援など、特定の目的のもと、期間を限定して現場に設置する援助の拠点。

プライマリー・ヘルスケア(primary health care) 地域社会の住民が身近に利用できる基本的な保健医療。

プログラム・アプローチ(program approach) 関連する複数のプロジェクトを有機的に組み合わせて実施する援助手法。

プロジェクト形成調査 (Project Formulation Studies)

協力を実施する際に、相手国の開発計画や協力分野での他の援助機関との関連、協力の効果、環境や社会への影響、発展の持続性などが不明確な場合に行う調査。不足している情報の収集や、現地調査団、相手国政府や関係機関との協議や、要請書の作成支援も行う。

平和構築 (peacebuilding)

紛争地域の和平達成のための包括的な取り組み。紛争予防、緊急人道支援、復旧・復興支援、紛争再発防止と本格的な開発支援、という一連のサイクルからなる。

南アジア地域協力連合

(South Asian Association for Regional Cooperation : SAARC)
1985年に発足した南西アジア7カ国の地域協力機構。

ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals : MDGs)

2000年の国連サミットでのミレニアム宣言に基づいて発表された、2015年までに達成すべき8つの目標。極度の貧困と飢餓の撲滅、普遍的初等教育達成、ジェンダー平等推進と女性の地位向上、幼児死亡率削減、妊産婦の健康改善、HIV/エイズ、マラリアなどの蔓延防止、環境の持続可能性確保、開発のためのグローバル・パートナーシップ推進。

メルコスール

(MERCOSUR : Mercado Común del Cono Sur)

南米南部共同市場。アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイが1991年に設立した域内市場。2006年7月ベネズエラが加盟。準加盟国はコロンビア、エクアドル、ペルー、ボリビア、チリの5カ国。

有償資金協力 (loan assistance)

返済期間が長く、低利の二国間ベースの政府貸付。日本では、JBIC(国際協力銀行)が円ベースの貸付を行っており、“円借款”ともいわれる。

リハビリ無償資金協力 (Grant Aid for Rehabilitation)

有償資金協力によって完成した案件のなかで、リハビリが必要であるにもかかわらず、緊急性、収益性、規模などの観点から有償資金協力での対応が困難な案件への、一般プロジェクト無償の枠内で追加的援助を行う制度。

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (reproductive health/right)

性と生殖に関する健康・権利。だれもが、自分の子どもの数や出産時期などについて、因習などの社会的圧力を受けずに、精神的にも身体的にも問題がなく、自分自身で決定できる状態・権利。

ローカルコスト (local costs)

プロジェクトの実施運営に際し、相手国が負担すべき費用。土地取得の経費、プロジェクト事業者の人件費、供与機材の引き取り・輸送に必要な経費、リカレント・コスト(施設・機材の運営・維持管理、要員の雇用のための経費)など。

A ~ Z

DAC (Development Assistance Committee)

開発援助委員会。経済協力開発機構(OECD)の下部機関として1961年設立。援助情報の交換、政策の調整、加盟国の援助実績および政策に関して検討し、必要に応じて勧告を行う。2005年現在、先進22カ国と欧州連合(EU)が加盟。

DAC新開発戦略 (DAC New Development Strategy)

OECDの開発援助委員会(DAC)が1996年5月に採択した、21世紀に向けての長期的な援助の指針。日本が主導し、開発途上国と先進国が責任を分担して共通の開発目標達成をめざす“新たなグローバル・パートナーシップ”という考え方を提唱した。開発目標は、経済的福祉、社会的開発、環境面での持続可能性の3分野で、貧困人口の削減、初等教育の普及、乳幼児・妊産婦死亡率の引き下げなどを掲げている。

DACリスト (DAC List)

DAC援助受取国・地域リストともいう。DAC(開発援助委員会)が定めた援助実績統計の対象となる「援助対象国・地域」のリストで、パート(開発途上国)、パート(東欧、旧ソ連構成国の一部、シンガポールなどのより進んだ開発途上国)に分類される。

HIPCs 重債務貧困国

JICA-Net

テレビ会議、マルチメディア教材、インターネットなどの情報通信技術を活用して、離れた国・地域で遠隔講義や研修などを行うネットワーク型国際協力。

LDC (Least Developed Countries)

後発開発途上国。国連による開発途上国の所得別分類で、開発途上国のなかでも特に開発の遅れている国々を指す。

MDGs ミレニアム開発目標

NEPAD (New Partnership for Africa's Development)

アフリカ開発のための新パートナーシップ。アフリカ統一機構(OAU)が2001年に発表したアフリカの開発構想。それまでの援助に依頼する体質を見直し、アフリカ自身のリーダーシップ

による開発を旨としている。

ODA (政府開発援助) 中期政策 (Medium-term Policy on ODA)

日本のODAの中期的な方針、基本的な考え方、重点課題などを明らかにしたもの。ODA政策の基本文書であるODA大綱をふまえて策定される。現行のODA中期政策は、2003年のODA大綱改訂を受け、2005年に改訂された。

OECD (Organization for Economic Cooperation and Development)

経済協力開発機構。1961年に発足した、経済成長、途上国援助、貿易の拡大を目的とする国際機関。2003年現在加盟国は30カ国。

PCM手法 (Project Cycle Management)

プロジェクトの計画・実施・評価のサイクルを、PDMによる概要表を用いて管理運営する参加型開発手法で、参加型計画とモニタリング・評価からなる。

PDM (Project Design Matrix)

PCMを行うためのプロジェクト概要表で、上位目標、プロジェクト目標、成果、活動、指標、指標データ入手手段、外部条件、前提条件、投入などの項目がある。

PRSP (Poverty Reduction Strategy Paper)

貧困削減戦略書。1999年の世界銀行、IMF(国際通貨基金)の開発委員会で、重債務貧困国のうち債務削減を希望する国に対して、債務削減の対象国と認定するための資料として、その国自身が、貧困への対応策を重視して主体的に作成することを義務づけた文書。

TICAD (Tokyo International Conference on African Development)

アフリカ開発(東京)会議。日本政府が呼びかけ、1993年に東京で開催したアフリカ開発を協議する会議。アフリカ各国、援助国、国際機関、NGOが参加。98年に第2回(TICAD)、2003年に第3回(TICAD)を開催、2008年には第4回(TICAD)開催が予定されている。

【参考文献】

後藤一美監修『国際協力用語集第3版』(国際開発ジャーナル社)、開発援助研究会編『経済協力用語辞典』(東洋経済新報社)、外務省編『ODA白書』(国立印刷局)、JICA各種資料・ホームページ

ODAに関する情報文献(JICA作成)一覽

テーマ・分野別研究報告書

<開発課題に対する効果的アプローチ>

『基礎教育』(2002) 『高等教育』(2003) 『HIV/AIDS』(2002) 『リプロダクティブヘルス』(2004) 『水資源』(2004) 『運輸交通』(2005) 『情報通信技術』(2003) 『中小企業振興』(2002) 『貿易・投資促進』(2003) 『農業開発・農村開発』(2004) 『農村開発』(2002) 『都市・地域開発』(2005) 『貧困削減』(2003) 『水質汚濁』(2005) 『大気汚染』(2005)

<援助潮流・援助アプローチ>

『途上国の開発事業における官民パートナーシップ(PPP)導入に関する基礎研究』(2005) 『PPP(Public-Private Partnership)プロジェクト研究』(2005) 『援助の潮流がわかる本:今、援助で何が焦点となっているのか』(2003) 『途上国における財政管理と援助-新たな援助の潮流と途上国の改革』(2003) 『日本型国際協力の有効性と課題』(2003) 『ソーシャル・キャピタルと国際協力-持続する成果を目指して-』(2002) 『国際協力の改革を求めて-情報通信技術の活用を目指して-』(2001) 『国際協力と参加型評価』(2001)

<人造り、キャパシティ・ディベロップメント>

『キャパシティ・ディベロップメント-CDとは何か、JICAでCDをどう捉え、JICA事業の改善にどう活かすか-途上国の主体性に基づく総合的課題対処能力の向上を目指して』(2006) 『客員研究員報告:ヨルダン家族計画-WIDプロジェクトの総合的研究-キャパシティ・ディベロップメントの視点による分析』(2005) 『客員研究員報告:キャパシティ・ディベロップメントからみたJICA技術協力の有効性と課題に関する-考察-ガナラ灌漑農業振興の事例から』(2005)

<教育>

『沖縄の教育復興の経験』(2006) 『中所得国への産業人材育成支援のあり方』(2006) 『ノンフォーマル教育支援の拡充に向けて』(2005) 『日本の教育経験-途上国の教育開発を考える-』(2003) 『客員研究員報告:日本の教員研修と教育教材開発の経験』(2005) 『客員研究員報告:住民参加型小学校建設プロジェクト-その効果的運用に向けて』(2005) 『客員研究員報告:Early Childhood Developmentの支援に関する基礎研究』(2004) 『準客員研究員報告:平和構築のための教育協力に関する基礎研究』(2001)

<保健医療・人口・社会保障>

『リプロダクティブヘルス分野の効果的アプローチに関する調査研究(詳細分析):思春期リプロダクティブヘルス』(2005) 『リプロダクティブヘルス分野の効果的アプローチに関する調査研究(詳細分析):妊産婦ケア』(2005) 上記 印の報告書はJICAホームページ/JICAナレッジ・サイト 分野課題 保健医療 母子保健・リプロダクティブヘルス 分野課題コンテンツ 参考文献・JICA作成資料 JICA作成資料 JICA文書・報告書一覧表」ページでダウンロード可。JICA図書館には在庫なし。『日本の保健医療の経験』(2004) 『日本の社会保障の経験-社会保障後発国としての制度整備過程と途上国への教訓の観点から-』(2004) 『母子の微量栄養素欠乏をなくすために-小さじ一杯で育まれる母子の健康-』(2003) 『第二次人口と開発援助研究-日本の経験を活かした人口援助の新たな展開-』(2003) 『途上国のソーシャル・セーフティ・ネットの確立に向けて』(2003) 『準客員研究員報告:開発における障害(者)分野のTwin-Track Approachの実現に向けて:「開発の障害分析」と「Community-Based Rehabilitation:CBR」の現状と課題、そして効果的な実践についての考察』(2003)

<ガバナンス・平和構築>

『JICAにおけるガバナンス支援-民主的な制度づくり、行政機能の向上、法整備支援-』(2004) 『効果

的な復興・開発支援のための援助の枠組みの検討-今後の平和構築支援に向けて』(2002) 『民主的な国づくりへの支援に向けて-ガバナンス強化を中心に-』(2002) 『地方行政と地方分権』(2001) 『平和構築』(2001) 『客員研究員報告:バルカン地域における民族融和支援手法の研究』(2005)

<資源・エネルギー>

『太陽光発電プロジェクト利用地方電化の課題と可能性に関する調査』(2005) 『連携促進委員会(再生可能エネルギー利用による電化事業)報告書』(2001) 『連携促進委員会(クリーナープロダクション)報告書』(2001) 『連携促進委員会(地球温暖化対策/CDM事業)報告書』(2002)

<経済政策・民間セクター開発>

『鉱工業プロジェクトフォローアップ調査報告書(民間セクター開発):貿易・産業振興分野におけるキャパシティ・ビルディングにおけるドナーの取り組み』(2003) 『WTO協定実施のためのキャパシティ・ビルディングに関する委員会報告書』(2002) 『途上国の制度整備協力の方向性(貿易・投資・競争関連制度)』(2003) 『途上国の制度整備協力の方向性(経済ソフトウェア)』(2003) 『鉱工業プロジェクトフォローアップ調査(中小企業振興に係る援助動向調査)』(2003) 『鉱工業プロジェクトフォローアップ調査(中小企業金融制度に係る日本の経験調査)』(2003)

上記 印6冊はJICAホームページの「JICAナレッジ・サイト 分野課題 民間セクター開発 共通/中小企業育成・裾野産業育成/貿易・投資促進 分野課題コンテンツ 参考文献・JICA作成資料 JICA作成資料」ページでダウンロード可。『金融に関する政策支援型協力基礎研究報告書』(2001) 『客員研究員報告:貧困国の民間セクター開発における貿易・投資が経済成長に及ぼす効果』(2004) 『客員研究員報告:自由貿易時代の投資法制度の課題:直接投資促進型の制度インフラへ向けて』(2001)

<貧困削減>

『貧困削減と人間の安全保障 Discussion Paper』(2005) 『貧困削減実務マニュアル(P-Book)』(2004) 上記 印報告書はJICAホームページの「JICAナレッジ・サイト 分野課題 貧困削減 貧困削減 標準的作業項目 00貧困削減実務マニュアル」ページでダウンロード可。『PRSPと援助協調に関する論考』(2004) 『PRSPプロセス事例研究-タンザニア・ガーナ・ベトナム・カンボジアの経験から-』(2004) 『貧困削減に関する基礎研究』(2001) 『客員研究員報告:マイクロファイナンスへのJICAの支援事例分析』(2004) 『客員研究員報告:貧困解消に向けての社会調査の重要性、可能性と困難性:ベトナム山岳地帯における「貧困」と「森林破壊」の関係にかかる参与観察型フィールド調査の事例から』(2005)

<農業・農村開発>

『農村生活改善協力のあり方に関する研究』(2002-2004) 『客員研究員報告:開発途上国における農業プロジェクトの環境経済評価手法と事例』(2005) 『準客員研究員報告:生活改良普及員に学ぶファシリテーターのあり方-戦後日本の経験からの教訓-』(2004)

<ジェンダーと開発>

『第2次分野別ジェンダー・WID研究会~ODAのジェンダー主流化を目指して~』(2003) <http://www.jica.go.jp/infosite/issues/gender/04.html>でダウンロード可。

<環境全般・自然環境保全・防災>

『第2次環境分野別援助研究会報告書』(2001) 『水分野援助研究会報告書-途上国の水問題への対応-』(2002) 『開発途上国廃棄物分野のキャパシティ・ディベロップメント支援のために-社会全体の廃棄物管理能力の向上をめざして-』(2005改訂) 『日本の産業公害経験-開発途上国と価格、市場、クリーナープロダクションの観点から』(2004) 『客員

研究員報告:保護区と地域住民の共生-エコシステム・アプローチによる生態系保全と保護区管理の統合-』(2005) 『客員研究員報告:戦略的環境アセスメントの導入に関する基礎的研究』(2005) 『防災と開発-社会の防災力の向上を目指して-』(2003)

<評価>

『プロジェクト評価の実践的手法(JICA事業評価ガイドライン)』(2004) 『評価と援助の有効性:評価および結果重視マネジメントにおける基本用語集』(2003) 上記2冊は、JICAホームページの「評価」ページにアクセスするとタイトルがあります。

・評価結果の総合分析:『高等教育』(2006) 『個別事業評価』(2005) 『初中等教育/理数科分野』(2004) 『情報通信技術/IT人材育成と各分野におけるIT活用』(2004) 『農業・農村開発(普及:事例研究)フェーズ1』(2005) 『農業・農村開発(普及:文献調査)フェーズ2』(2004)

・特定テーマ評価:『プログラム評価(ホンジュラス基礎教育分野)』(2006) 『ボランティア事業(青年海外協力隊事業)』(2006) 『外部機関による評価-経済連携』(2006) 『外部機関による評価-南南協力』(2006) 『参加型地域開発のジェンダー評価』(2005)

『アフリカ感染症対策』(2005) 『平和構築支援/アフガニスタン支援レビュー』(2004) 『フィリピン人口・健康セクター/USAID連携 Part1 母子保健・家族計画(リプロダクティブヘルス)分野、Part2 感染症対策分野』(2004) 『貧困削減/地域社会開発』(2004) 『NGO連携事業-草の根型案件の評価手法のあり方について』(2004) 『環境分野 環境センターアプローチ:途上国における社会的環境管理能力の形成と環境協力』(2003) 以上「評価結果の総合分析」「特定テーマ評価」の 印報告書は、JICAホームページの「評価」事後評価報告書の下の欄の個別事業評価/特定テーマ評価」ページにあります。

<市民参加>

『NGO-JICA草の根展開型事業の経験分析-双方の事業特性と相互補完性を活かした今後の連携に向けて』(2005) 『地域おこしの経験を世界へ-途上国に適用可能な地域活動-』(2003) 『地域に根ざしたNGOとの連携のために-草の根NGOとJICAとのパートナーシップ構築-』(2003) 『21世紀のJICAボランティア事業のあり方』(2002)

国別・援助別援助研究(2001年以降作成のもの)

『ボリビア』(2004) 『タイ』(2003) 『ネパール』(2003) 『中・東欧』(2003) 『パキスタン』(2003) 『キューバ』(2002) 『ブラジル』(2002) 『ガーナ』(2002) 『カンボジア』(2001) 『中央アジア』(2001) 『アフリカ援助入門』(2003)

セミナー・シンポジウム報告書

『キャパシティ・ディベロップメント-途上国の主体性に立った総合的課題対処能力の向上をめざして-』(2005、セミナー報告書) 『公開シンポジウム:スキル・ディベロップメントと地域開発:技術教育・訓練分野の国際協力のあり方:報告書』(2005) 『EFA(万人のための教育)達成に向けて-私達にできること、今すべきこと-』(2005、セミナー報告書) 『EFA and Lifelong Learning』(2004、JICA・UNESCO共催シンポジウム報告書・英文) 『JICA教育協力の経験と今後の方向性-法人契約化の一層の推進-』(2004、セミナー報告書) 『援助は現場で起きているんだ!-教育協力最前線-』(2004、シンポジウム報告書)

定期刊行物

『monthly Jica』(月刊) 『Network』(英語、季刊) 『クロスロード』(月刊) 『国際協力研究』(年2回発行) 『Technology & Development』(「国際協力研究」英訳版、年1回発行)

(注) 上記は2001年以降に作成されたJICA報告書(個別事業報告書以外)から抜粋したものです(カッコ内は出版年)。

： JICAホームページ(<http://www.jica.go.jp>)の「報告書・映像資料」でダウンロード可。 JICA図書館(東京都新宿区市谷・JICA国際協力総合研修所内)を利用しての閲覧可。 ： JICAホームページの「JICAナレッジ・サイト」でダウンロード可。 JICA図書館を利用しての閲覧可。 ： JICAホームページの「JICAナレッジ・サイト」でダウンロード不可(ダウンロード準備中を含む)、JICA図書館を通して請求する場合のみ閲覧可。 ： 市販の書籍として刊行。

印については次のとおりです。

特集

第1部

第2部

第3部

第4部

参考

ODAに関する情報文献(JICA作成)一覽

資料編CD-ROMの データベースについて

資料編CD-ROMは、WindowsおよびMacintoshに対応したハイブリッド形式で作成しており、「年報資料編」と「JICA統計」の2つのデータベースを収録しています（「JICA統計」はWindows版にのみ収録）。

1 年報資料編

収録内容は以下の4データです。

A. 「案件概要」

国際協力機構が実施した2005年度の事業別案件の概要*。分野、国などの条件を指定して検索ができます。

（検索、印刷、データ書き出し可能）

*一部の項目に記載がないものがあります。

B. 「実績統計」

（印刷、データ書き出し可能）

- 1) 2005年度地域別・国別事業実績（ODAを含むJICA実績。本書第4部にも「国別事業実績」として掲載）
- 2) 1952～2005年度の形態別・年度別総括実績（人数実績、新規のみ）
- 3) 1995～2005年度の年度別・形態別実績総括（人数、経費）
- 4) 1995～2005年度の経費実績の事業別構成比
- 5) 1990～2005年度の形態別援助国上位20カ国（経費、人数）
- 6) 地域別・形態別・分野別人数実績（二国間と国際機関について、それぞれ2005年度および累計実績）
- 7) 1975～2005年の技術協力と無償資金協力の実績（経費、人数）

C. 「青年招へい事業」

1984～2005年度の青年招へい事業の国別・年度別受入実績

（印刷、データ書き出し可能）

D. 「2005年度協力案件一覧」

当機構が2005年度に実施した案件の名称一覧です。

- 1) 無償資金協力
- 2) 開発調査
- 3) 技術協力プロジェクト
- 4) 国際緊急援助隊派遣・物資供与
- 5) 草の根技術協力

2 JICA統計

国際協力機構の1952年度以降の人数実績と1978年度以降の経費実績のデータベースで、Windows版のみに収録されています。

以下の2つのメニューがあります。

A. 「データベース検索」

（データベースの検索、印刷）

1. 経費実績
 - 1) 経費実績データ検索
 - 2) 地域別（形態・分野別）経費実績検索
 - 3) 国別（形態・分野別）経費実績検索
2. 人数実績
 - 1) 人数実績データ検索
 - 2) 地域別（形態・分野別）人数実績検索
 - 3) 国別（形態・分野別）人数実績検索

*1. の1)、2. の1) はデータ書き出し可能

B. 「2005年度実績印刷」

（最新年度の帳表印刷）

1. 経費実績
 - 1) 2005年度地域別（形態・分野別）経費実績印刷
 - 2) 2005年度国別（形態・分野別）経費実績印刷
2. 人数実績
 - 1) 2005年度地域別（形態・分野別）人数実績印刷
 - 2) 2005年度国別（形態・分野別）人数実績印刷

資料編CD-ROMの ご利用上の注意

資料編CD-ROMには、当機構の2005年度の事業実績と、当機構および海外技術協力事業団、海外移住事業団などが実施した国際協力事業の事業実績が収録されています。

1 収録内容について

Windows

収録内容は、以下のとおりです。

- ¥ 利用方法.txt^{#1}
- 収録DB.txt^{#2}
- 資料編（フォルダ）^{#3}
 - 資料編.EXE（起動用ファイル）
 - メニュー.USR
 - 年報資料編.USR
 - 案件検索.USR
 - 招へい.USR
 - 統計01.USR
 - 統計02.USR
 - 統計03.USR
 - 統計04.USR
 - 統計05e.USR
 - 統計05p.USR
 - 統計06.USR
 - 統計07.USR
 - JICA統計-ROM.USR
 - 経費統計-ROM.USR
 - 人数統計-ROM.USR
 - コードメンテナンス-ROM.USR
- ann2005.pdf^{#4}
- CLLNGJPN.DLL
- CLPROOF.DLL
- CTL3D32.DLL
- FM_USR.DLL
- FMCON10.DLL
- FMCOR10.DLL
- FMENG10.DLL
- FMFC10.DLL
- FMGFX10.DLL
- FMINT10.DLL
- FMML10.DLL
- FMNSV14.DLL
- FMOLE10.DLL
- FMPRT50.HLP
- FMQTE10.DLL
- FMWFC10.DLL
- MFC42.DLL
- MSVCRT.DLL

*1 ~.txtファイルは、テキストファイルです。

*2 収録DB.txtは、収録されているデータベースについて記述しています。

*3 「資料編」フォルダには、「年報資料編データ」として、当機構の2005年度を中心とした事業実績、および「JICA統計データ」として、当機構および海外技術協力事業団、海外移住事業団などが実施した国際協力事業の人数実績（1952～2005年度）、および経費実績（1978～2005年度）の集計データが収録されています。なお、JICA統計データは、CD-ROMの容量の点から、Windows版にのみ収録しています。

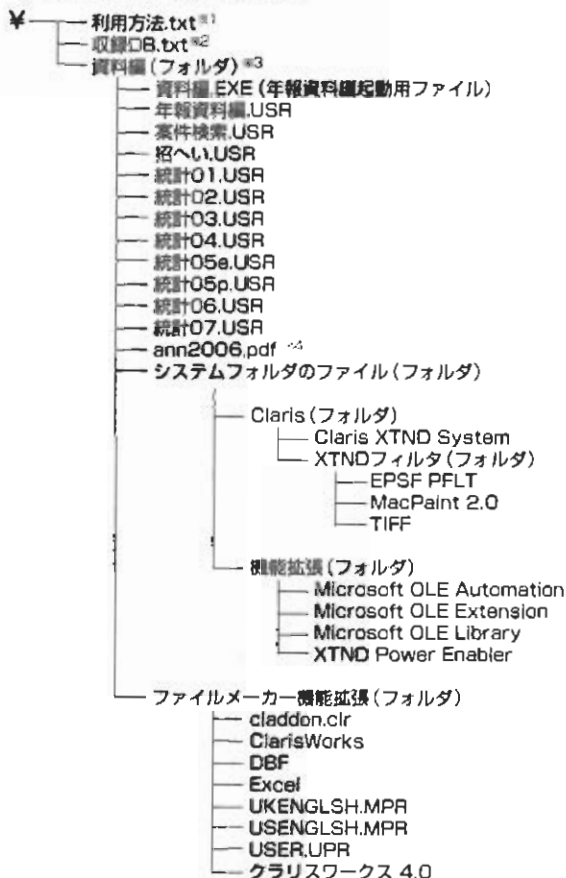
*4 「ann2005.pdf」は、2005年度の協力案件の一覧です。PDF形式のファイルをご覧になるためにはAdobe Readerが必要ですが、

収録されている事業実績データは、ファイルメーカー Developer Toolを使用し、ランタイムアプリケーションとして作成しています（このソフトウェアのある部分については、FileMaker, Inc. が著作権を含むすべての権利を保有しています）。Portions of software are ©1984-2006 FileMaker, Inc. All rights reserved.

ハードディスクにコピーして利用する場合には、「資料編」フォルダをフォルダごとコピーしてから利用してください（「資料編」フォルダ内には複数のファイルが収録されており、資料編アプリケーション実行には、フォルダ内のすべてのファイルが必要になります）。

Macintosh

収録内容は、以下のとおりです。



2 動作環境

このCD-ROMは、WindowsおよびMacintoshに対応したハイブリッド形式で作成しています。
 CD-ROM内のデータをご利用いただくために必要な環境は、以下のとおりです。

Windows

- 対応機種
 - i486SX以上のマイクロプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ (i486DX以上を推奨)
 - CD-ROMドライブ
- 必要なシステム
 - Internet Explorer 5.0以降がインストールされたWindows 2000 または Windows XP 以上
- 必要なRAMの空き容量/メモリ
 - 128MB以上
- 必要なハードディスクの空き容量
 - 450MB以上

※Windows 2000、Windows XP の制限ユーザー環境では動作しない場合があります。その時はAdministrator 権限のあるユーザーでご使用ください。

Macintosh

- 対応機種
 - PowerPCを搭載したパーソナルコンピュータ
 - CD-ROMドライブ
- 必要なシステム
 - Mac OS 8.1以上
 ※Mac OS X上では、クラシック環境で動作します。
- 必要なRAMの空き容量/メモリ
 - 128MB以上
- 必要なハードディスクの空き容量
 - 80MB以上

3 ランタイムアプリケーションの起動と検索

Windows

「資料編 CD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入すると、自動的に資料編アプリケーションが起動し、メニュー画面が表示されます。メニュー画面が起動しない場合は、「資料編」フォルダ内の「資料編 EXE」をダブルクリックすると、メニュー画面が表示されます。
 メニュー画面で、「年報資料編」および「JICA統計」のボタンをクリックすることで、それぞれのデータベースが利用できます。
 検索方法等については、「年報資料編」は年報資料編メニュー画面にある「利用方法」ボタンをクリックすると表示される「年報資料編の利用方法について」を、「JICA統計」は、JICA統計メニュー画面および各検索画面にある「解説」ボタンをクリックすると表示される「本システムの使い方」および「操作解説」「データ解説」「検索画面解説」を参照してください。

Macintosh

CD-ROMの「資料編」フォルダ内の「資料編 EXE」をダブルクリックすることで、「年報資料編」のメニュー画面が表示されます。

4 著作権等について

- (1) このCD-ROMに収録されているデータの著作権は独立行政法人国際協力機構にあります。
 - (2) MicrosoftおよびMicrosoft Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
 - (3) Apple, Macintosh, Mac, Mac OS, Power Macは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
 - (4) FileMakerおよびファイルメーカーは、FileMaker, Inc.の登録商標です。ファイルフォルダロゴは、FileMaker, Inc.の商標です。
 - (5) Adobe Readerは、アドビシステムズ株式会社の登録商標です。
 - (6) その他、すべてのブランド名および製品名は、個々の所有者の登録商標もしくは商標です。
- また、このCD-ROMに収録されたソフトウェアやデータを運用したにかなる結果についても、国際協力機構、ファイルメーカー社はその責任を負いませんので、ご了承ください。
 このCD-ROMを無断で複製転載することは、著作権法上での例外を除き禁止されています。

資料編CD-ROMの見方

1 集計の基準

- (1) 収録した事業実績等の数値は、「国際協力機構統計集計要領」に基づき集計した。
- (2) 集計の対象期間は、1952年4月1日から2006年3月31日までである。
- (3) 年度は、会計年度(4月1日から翌年3月31日まで)である。
- (4) 国名の表記法は、JICAの規定による。
- (5) 分野の分類は、前記「統計集計要領」で使用している中分類(20分野)を用いた。
- (6) 地域は、次の6つに区分した。
アジア地域、中東地域、アフリカ地域、北米・中南米地域、大洋州地域、ヨーロッパ地域等
注) ①中央アジア・コーカサス地方の計8カ国は、1998年度までは「ヨーロッパ地域等」に含めていたが、1999年度からは「アジア地域」とした。このため、1999年度以降作成の事業実績統計においては、それまで「ヨーロッパ地域等」に集計していた中央アジア・コーカサス地域の国々への実績は、すべて「アジア地域」に振り替えた。
②「中東地域」は、アフガニスタン以西からサハラ砂漠以北の国々で、「アフリカ地域」は、サハラ砂漠以南の国々とした。
- (7) 事業は次の26に区分した。
技術研修員受入事業、技術協力専門家派遣事業、開発調査事業、技術協力機材供与事業、プロジェクト方式技術協力事業、技術協力専門家等福利厚生事業、人材養成確保事業、開発協力事業、青年海外協力隊派遣事業、無償資金協力事業、海外移住事業、青年招へい事業、災害援助等協力事業、国・課題別事業計画、フォローアップ事業、技術協力プロジェクト事業、国民参加協力事業、事業評価、海外開発計画調査事業、資源開発協力基礎調査事業、海外農林業開発協力問題調査事業、有償技術協力事業、事業附帯関係費、国内機関関係費、在外事務所関係費、理科教育等海外協力事業
- (8) 形態は、次の8つに区分した。
研修員受入、専門家派遣、調査団派遣、青年海外協力隊派遣、その他ボランティア派遣、機材供与、移住者選航、その他
- (9) 累計の人数実績は、当該年度予算によって、その年度に来日した研修員(新規研修員)、および、新しく任地に出発した専門家(新規専門家)、調査団員(新規調査団員)、青年海外協力隊員(新規協力隊員)、ならびに、新しく選航した移住者の人数を集計した。したがって、年度を超えて、翌年、翌々年等にまたがって滞日または外国に勤務した者は、来日または出発した年度に1回のみ集計して、翌年、翌々年等には集計の対象とはしていない。
- (10) 2005年度的人数実績は、新規の受入または派遣の人数に、前年度から引き続き滞日または派遣している人数(移住者は含まない)を加えた数値となっている。

- (11) 複数の国にわたって実施された調査などの経費については、1954年度から「区分不能」として集計している。ただし、1974年度から1993年度までについては、調査団の派遣した国数で割って得た額をそれぞれ該当する国に加えた。
- (12) 国際機関からの要請による研修員受入の経費については、1952年度から1979年度までは、研修員の国籍を有する国への実績としていたが、1980年度からは二国間の実績とはせずに、「国際機関」として集計している。
- (13) 1987年度に、米領太平洋諸島およびヤップ島の累計実績の見直しを行った結果、同年度集計分から、以下のとおり実績値を修正した。
①1981年度以前の米領太平洋諸島の実績は、人数、経費とも、マリアナ諸島、ミクロネシアまたはマーシャル諸島の実績に含める。
②ヤップ島の実績は、1964年度にさかのぼり、すべてミクロネシアに含める。

2 事業の実績について

- (1) 事業の実績は、JICAの事業について、①国ごとに、②分野ごとに、③事業ごとに分けて集計ないし記述したものである。
- (2) 同一地域内の複数の国にまたがって実施した協力の実績は、すべて当該地域内の合計の前に項目を設けた。また、複数地域にまたがるものは、全世界の合計の前に「全世界」または「区分不能(世界)」の項目を設けた。
- (3) 開発調査事業および無償資金協力事業について、以下に該当する場合は、契約受注企業名は記載していない。
● 予算の性格等特別の理由により、JICA以外の機関(外国の政府を含む)が受注企業と契約した場合

3 略号について

- (1) E/N …… 交換公文(Exchange of Note)の略。
広義の条約の一種で、2以上の国家・国際機関の間で取り交わされる書簡による合意の一形式。援助に際して交換されるE/Nには、受入国政府との間で合意した援助の内容が、政府間の合意として記されている。無償資金協力では、これに基づいて資金が供与される。
- (2) R/D …… 討議議事録(Record of Discussions)の略。
JICAが、個々のプロジェクト方式技術協力を開始するにあたって、相手国の協力先機関と合意した協力内容をとりまとめ、双方の代表が署名した文書。

R100

PRINTED WITH
SOY INK

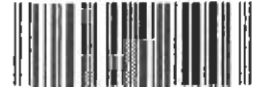


【館外貸出可能】

※本書に付属のCD-ROMは、図書館およびそれに準ずる施設において、館外貸し出しを行うことができます。



9784906352586



1920031025003



独立行政法人 国際協力機構
<http://www.jica.go.jp/>